

医療安全管理体制と医療安全情報の利用状況に関する調査 集計結果 (全国の病院を病床規模で層別化し無作為に抽出した病院)

令和元年度厚生労働科学研究

医療事故の再発防止策の効果的な作成および実践
されるための促進要因・阻害要因の研究 研究班

研究代表者

東邦大学医学部教授

長谷川友紀

全日本病院協会 医療の質向上委員会

委員長

永井庸次

お忙しい中、本調査にご協力いただいた皆さまに深く御礼申し上げます。以下に本調査の集計結果を示します。

本調査の目的:

全国の病院の医療安全管理体制の現状を明らかにするのに加え、各種の医療安全情報の病院での利用状況と利用に関連する因子を明らかにし、医療安全情報が広く受け入れられるための方策を検討する。

対象:

全国の病院(n=8,448)を病床規模で層別化し無作為に抽出した病院(n=3,216)と、無作為抽出から漏れた全日本病院協会の会員病院(n=1,600)。

	一般病床の病床数	母数(2019)	抽出率	配布数
無作為抽出病院	100床未満	5,851	25%	1,462
	100-299床	1,685	50%	842
	300床以上	912	100%	912
	小計	8,448	-	3,216
	(内、全日病会員病院)	(2,554)		(954)
無作為抽出から漏れた全日本病院協会 会員病院				1,600
合計				4,816

期間: 2019年11月22日(発送)～12月11日(投函期限)

回収率: 全体 18.6%(898/4816)

無作為抽出病院 20.4%(656/3216)

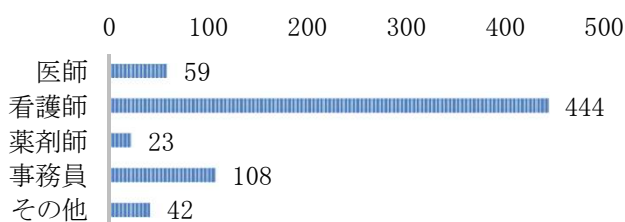
全日本病院協会 会員病院 18.4%(471/2554)

定義: 急性期病院 一般病床が50%以上を占める病院
慢性期病院 療養病床が50%以上を占める病院
精神科病院 精神科病床が50%以上を占める病院
その他病院 上記に該当しない病院

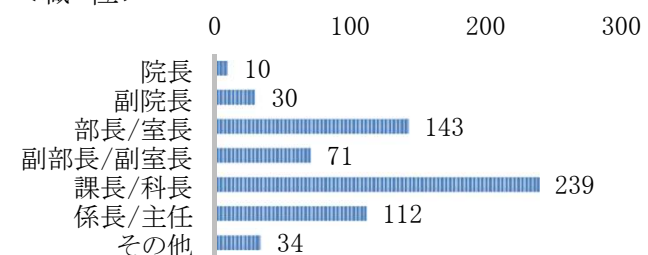
※以下は無作為抽出された病院の調査結果(n=656)をまとめたものです。

1. 本調査に主にご回答いただく方の院内でのお立場をお教えてください。(当てはまるもの全て選択)

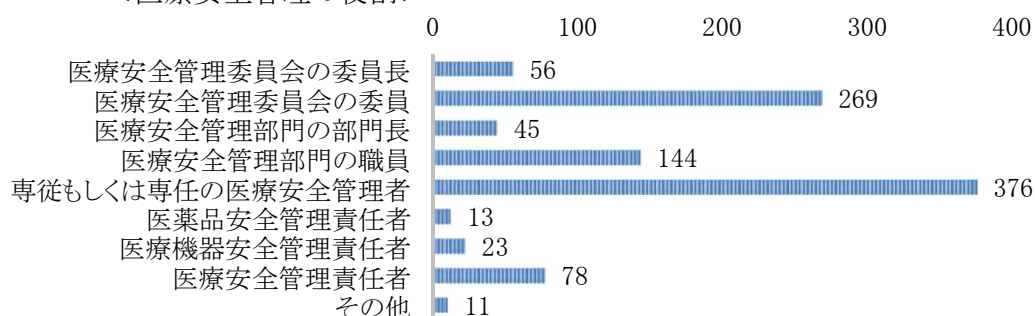
<職種>



<職位>



<医療安全管理の役割>



資料7

<医療機関の基礎的な情報>

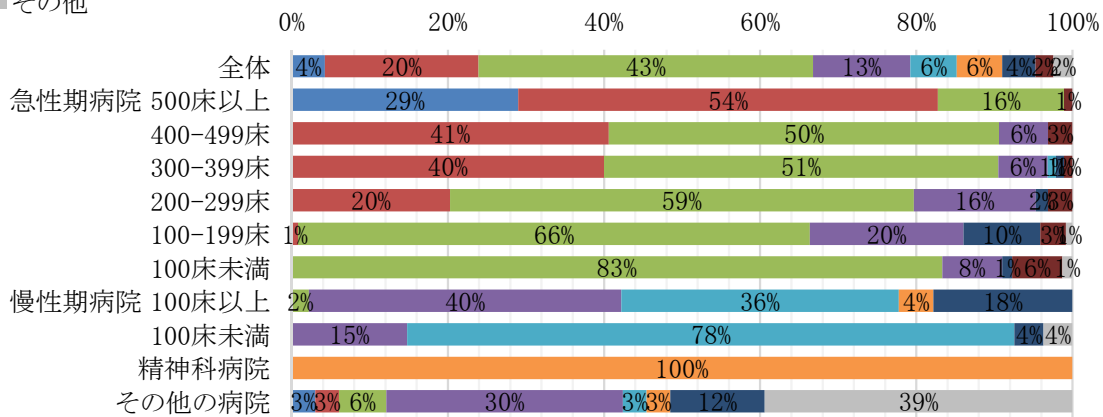
2. 病床数 (稼働病床数について直近の数値をご回答ください。)

			n (病院数)
全体			656
急性期病院	総病床数	500床以上	93
		400-499床	64
		300-399床	95
		200-299床	64
		100-199床	122
		100床未満	78
慢性期病院	総病床数	100床以上	45
		100床未満	27
精神科病院			35
その他病院			33

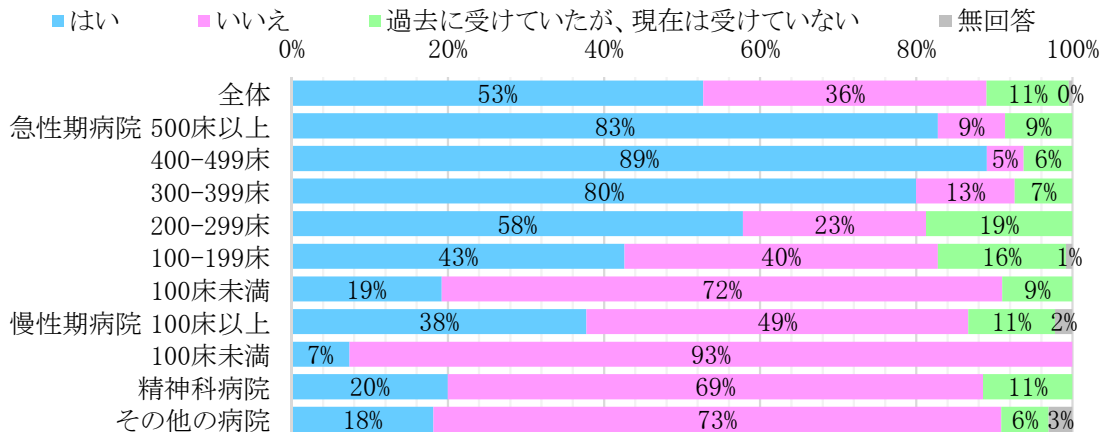
(注意:各図の標本数は、特に記載のない限り、左記の値をとるものとする。)

3. 施設機能としてもっとも当てはまるものを1つを選んでください。

- 特定機能病院
- 地域医療支援病院
- 一般病院(一般病床を主体とする病院)
- ケアミックス病院(一般病床と療養病床の両方を有する病院)
- 長期療養型の病院(療養病床を主体とする病院)
- 精神科病院(精神科病床を主体とする病院)
- リハビリテーション病院
- 単科専門病院(特定の疾患または診療科に特化した病院)
- その他

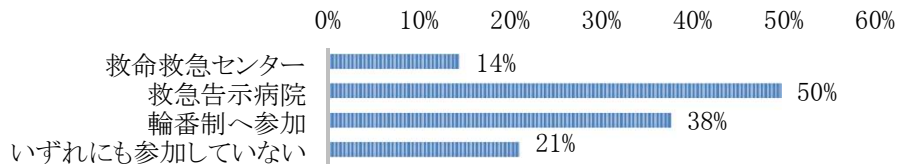


4. 日本医療機能評価機構による認定を受けていますか。



資料7

5. 救急医療体制には参加していますか。(当てはまるもの全て選択)



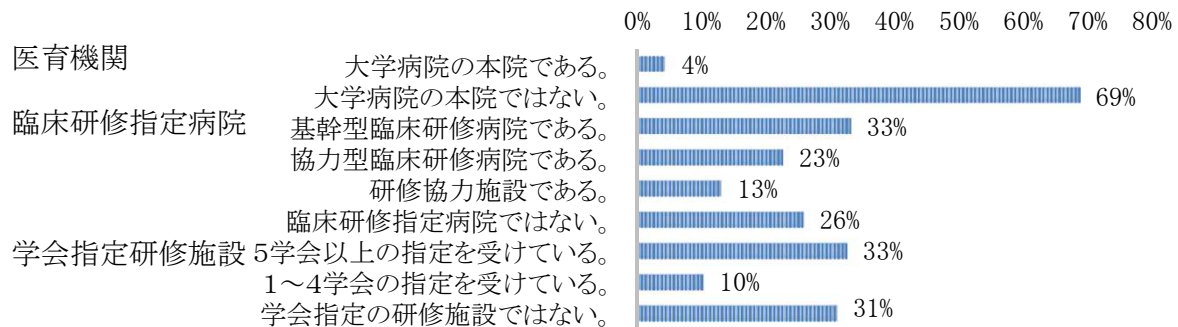
6. 職員数(常勤換算) (直近の数値をご回答ください。) (平均)

	全体	急性期病院						慢性期病院		精神科病院	その他の病院
		500床以上	400-499床	300-399床	200-299床	100-199床	100床未満	100床以上	100床未満		
医師(研修医を除く)	64	242	91	70	36	18	12	9	5	13	13
研修医	11	43	15	11	4	1	1	0	0	1	0
看護師	313	717	421	722	206	106	45	78	30	106	94
薬剤師	15	43	25	20	11	7	2	4	1	4	4
その他	251	465	304	565	177	125	55	145	49	110	122
総職員数	674	1509	848	1509	429	254	115	232	85	234	235

7. 年間退院患者数および死亡退院患者数はそれぞれ何人ですか。(昨年もしくは昨年度の数値をご回答ください。)(平均)

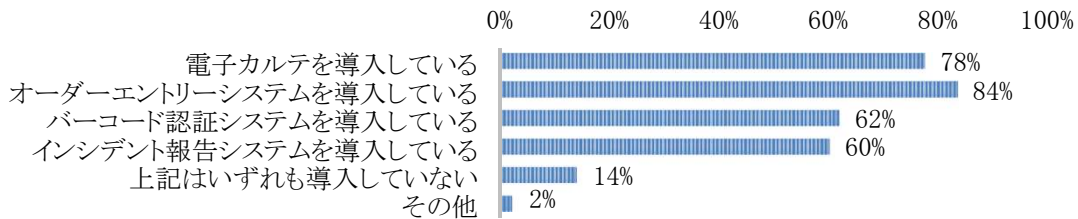
	全体	急性期病院						慢性期病院		精神科病院	その他の病院
		500床以上	400-499床	300-399床	200-299床	100-199床	100床未満	100床以上	100床未満		
退院患者数	5430	15608	9268	7059	5198	2844	943	560	220	479	1128
うち死亡退院患者数	214	510	392	281	212	128	40	98	42	30	67

8. 卒前・卒後教育の状況についてそれぞれ回答してください。(当てはまるもの全て選択)

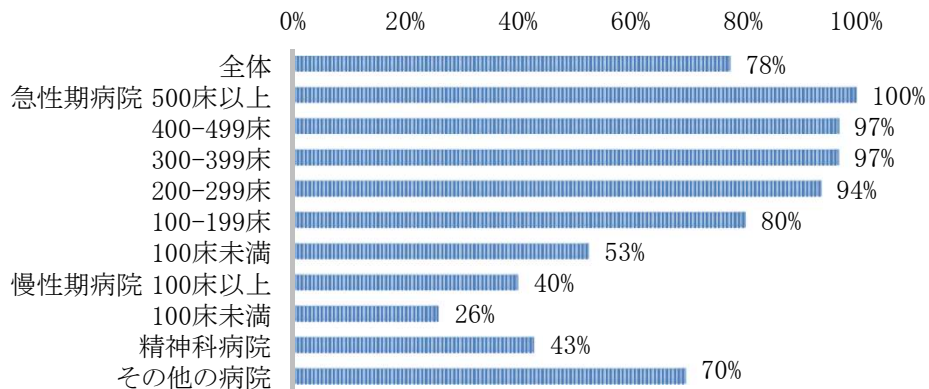


9. 病院情報システムの導入状況をご回答ください。(当てはまるもの全て選択)

(注: 電子カルテを導入している場合、オーダーエントリーシステムも導入しているものとして集計)

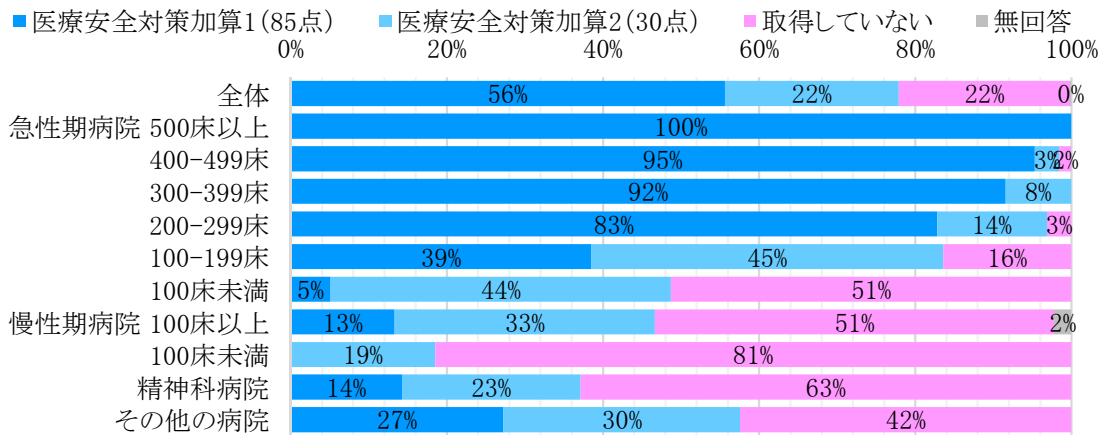


(電子カルテを導入している割合)



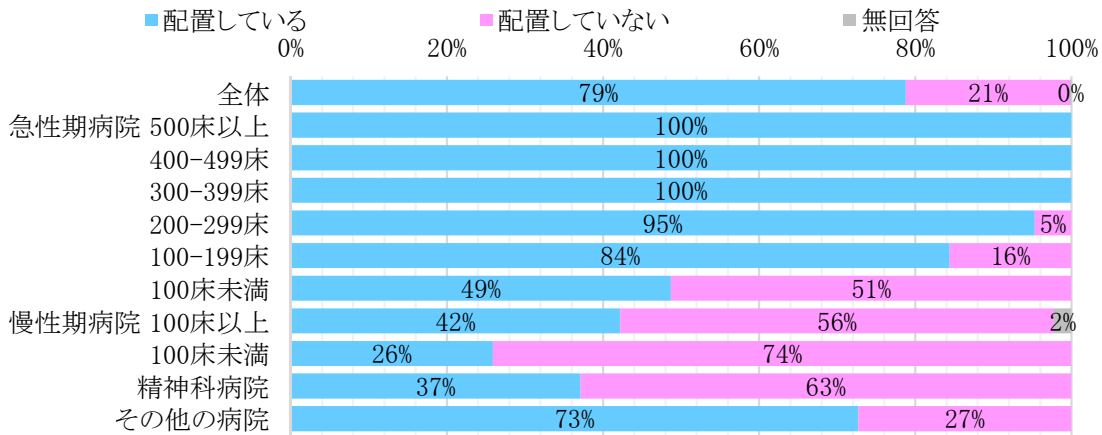
<医療安全管理の体制>

10. 診療報酬で医療安全対策加算を取得していますか。



11. 専従または専任の医療安全管理者を配置していますか。

ただし、専従と専任は次の定義に従う者とします。
 専従: 他の業務を行わず、医療安全の業務に就業時間の8割以上従事している者
 専任: 他の業務への従事の有無を問わず、医療安全の業務に就業時間の5割以上従事している者

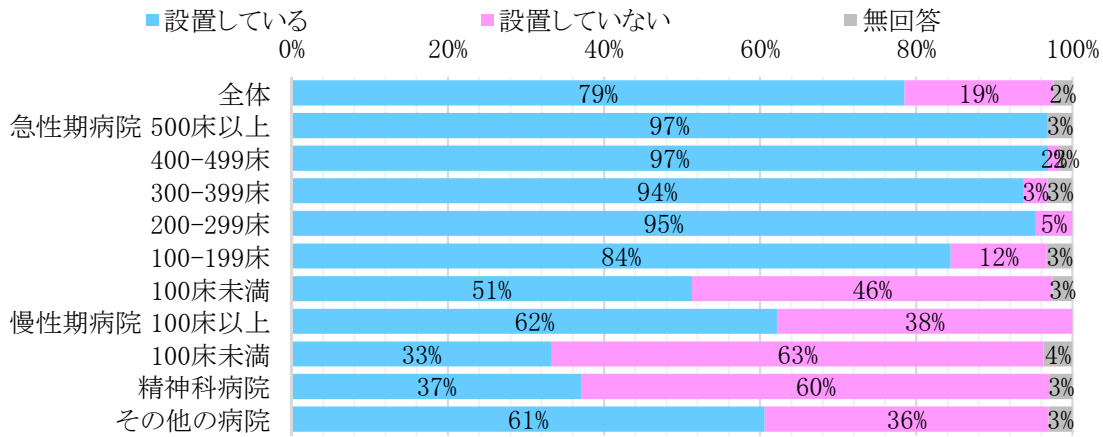


12. 問11で「配置している」と回答した場合、職種別の配置人数を教えてください。(中央値)

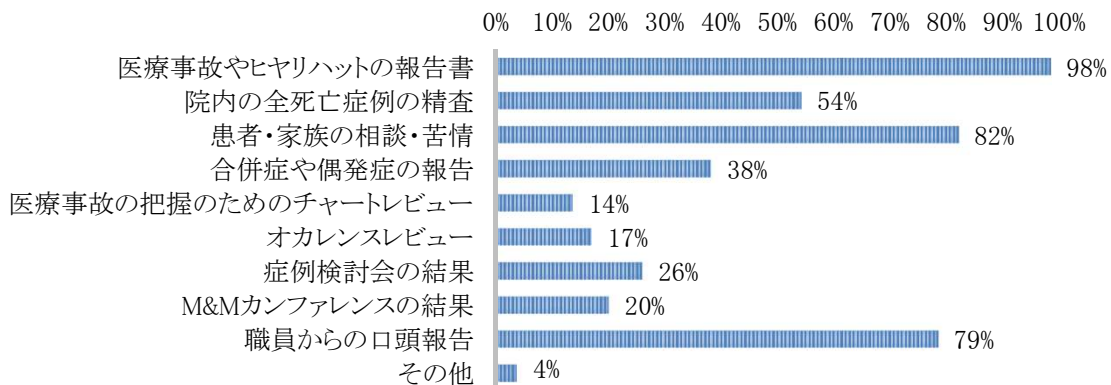
	職種	全体	急性期病院					慢性期病院		精神科病院	その他の病院
			500床以上	400-499床	300-399床	200-299床	100-199床	100床未満	100床未満		
<専従>	医師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	看護師	1	1	1	1	0	0	0	0	0	
	薬剤師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
<専任>	医師	0	1	1	0	0	0	0	0	0	
	看護師	0	0	0	0	0	1	1	1	1	
	薬剤師	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事務員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

資料7

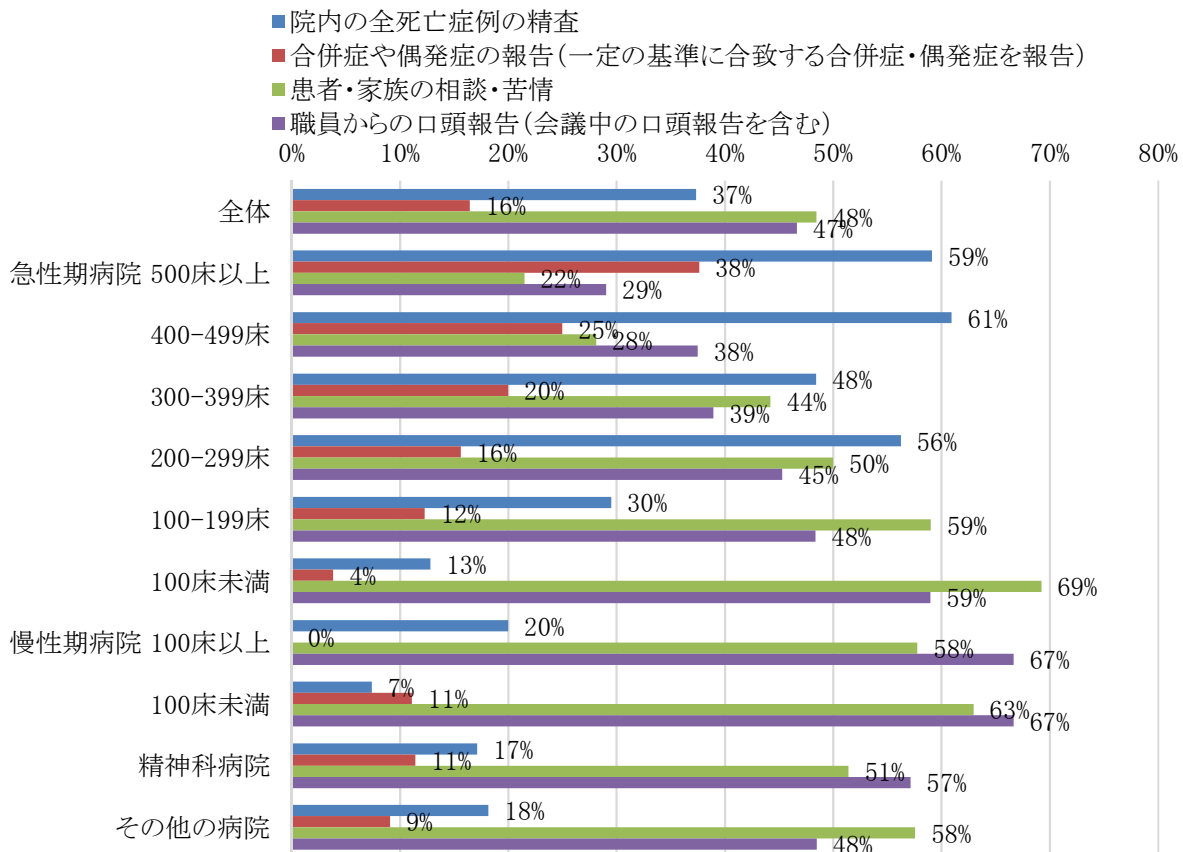
13. 医療安全管理のための部署を設置していますか。



14. 医療安全管理の担当者が、院内で発生した医療事故やヒヤリハットを把握するために、どのような方法を用いていますか。(当てはまるもの全て選択)



上記の10個の方法のうち、特に重視しているのものを3つ選んでください。
(3割以上、9割未満の病院が実施している方法のみを抽出)



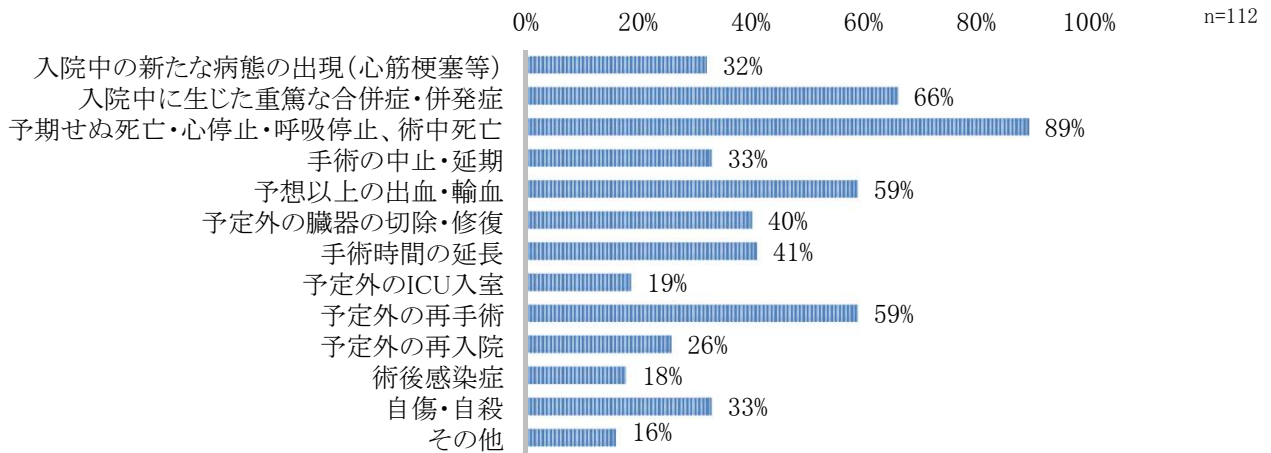
資料7

15. 問14で「05 医療事故の把握のためのチャートレビュー」を用いていると回答した場合、入院患者の何%がその対象になっていますか。

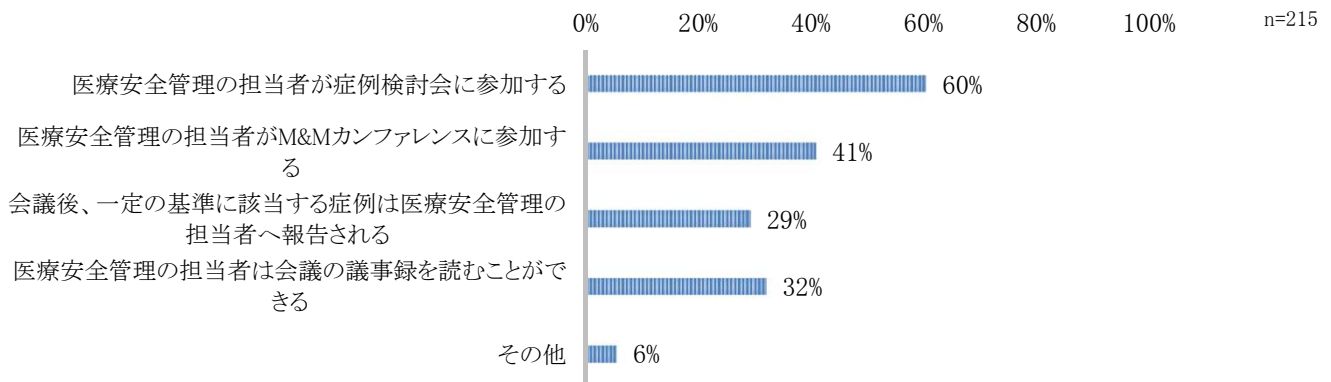
2.8% (中央値)

n=90

16. 問14で「06 オカレンスレビュー」を用いていると回答した場合、症例の抽出基準に入っている項目を選択してください。(当てはまるもの全て選択)



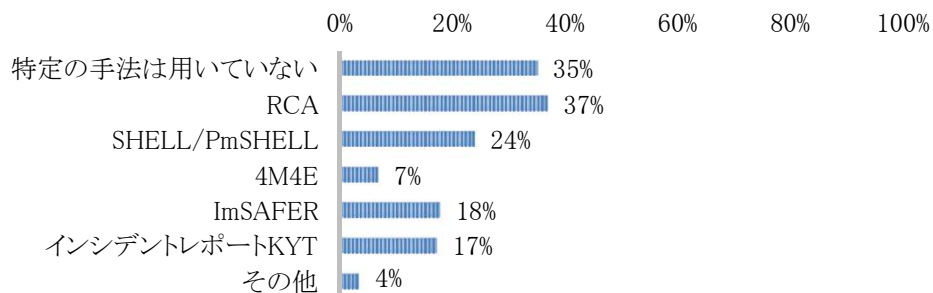
17. 問14で「07 症例検討会の結果」または「08 M&Mカンファレンスの結果」を用いていると回答した場合、医療安全管理の担当者はそれらの情報をどのような方法で把握していますか。(当てはまるもの全て選択)



18. 医療安全管理を目的とした院内報告の件数は、年間(昨年もしくは昨年度)およそ何件ですか。(1事例に対し複数の報告がある場合は、延べ報告件数を回答してください。)(中央値)

	全体		急性期病院				慢性期病院		精神科病院	その他の病院	
	500床以上	400-499床	300-399床	200-299床	100-199床	100床未満	100床以上	100床未満			
1病床当たり医療事故件数	0.3	0.6	0.4	0.3	0.3	0.3	0.1	0.2	0.3	0.2	レベル3a以上
1病床当たりヒヤリハット件数	3.3	4.2	4.0	4.1	3.3	2.8	2.7	2.3	1.2	2.5	レベル2以下
1病床当たり報告件数	3.7	4.8	4.4	4.9	3.7	3.3	3.2	2.7	2.3	2.6	2.9

19. 報告された事例(医療事故やヒヤリハット)の分析にどのような手法を用いていますか。(当てはまるもの全て選択)



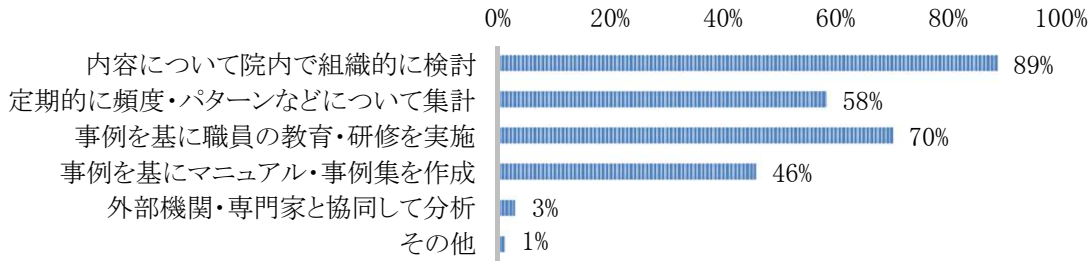
08 複数の手法を用いている場合、それらをどのような基準で使い分けていますか。(自由記載、省略)

資料7

20. RCAやImSAFER、PmSHELLモデル等の手法を用いて分析した件数は、年間(昨年もしくは昨年度)およそ何件ですか。(類似事例をまとめて分析している場合には、まとめて1件とします。)

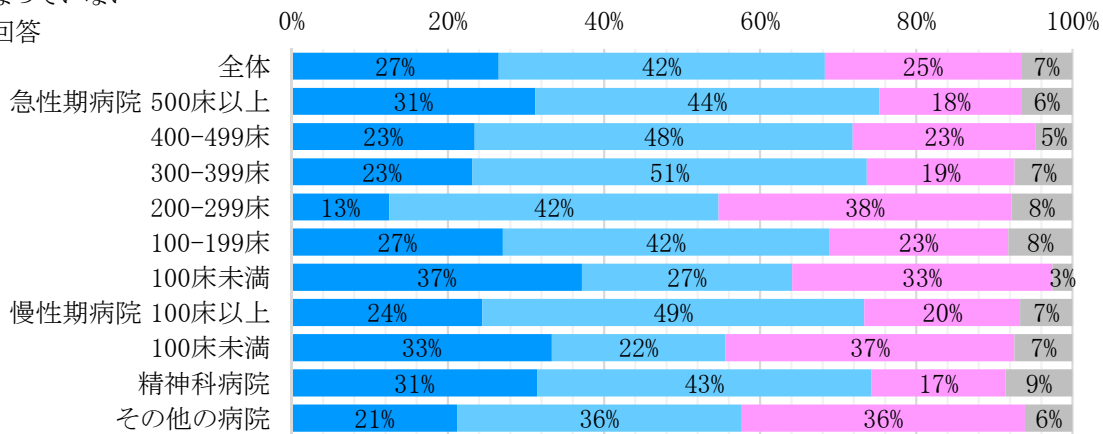
- 01 医療事故 年間 3件 (中央値)
- 02 ヒヤリハット 年間 6件

21. 報告された事例(医療事故やヒヤリハット)・情報をどのように活用していますか。(当てはまるもの全て選択)



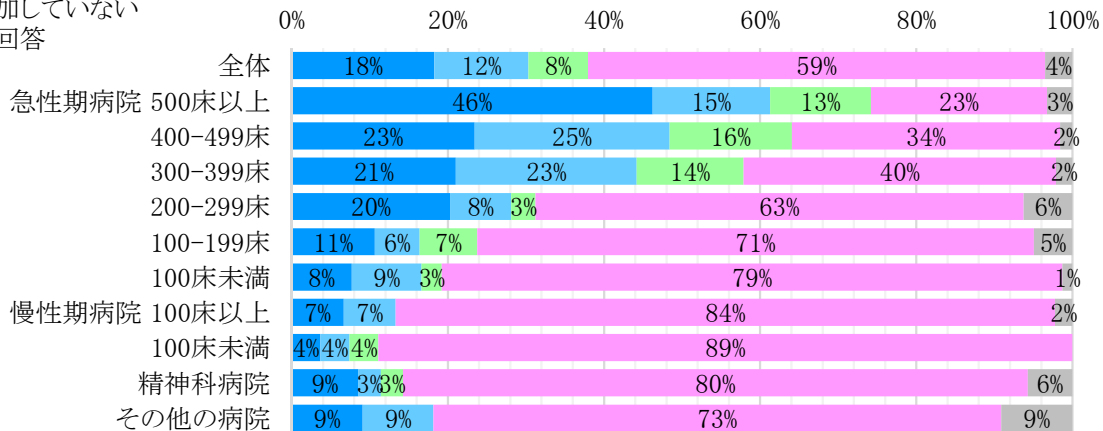
22. 生じやすい医療事故等についてリスク評価を実施していますか。

- 行なっている(院内のほとんどの業務、部署について)
- 行なっている(院内の一部の業務、部署について)
- 行っていない
- 無回答



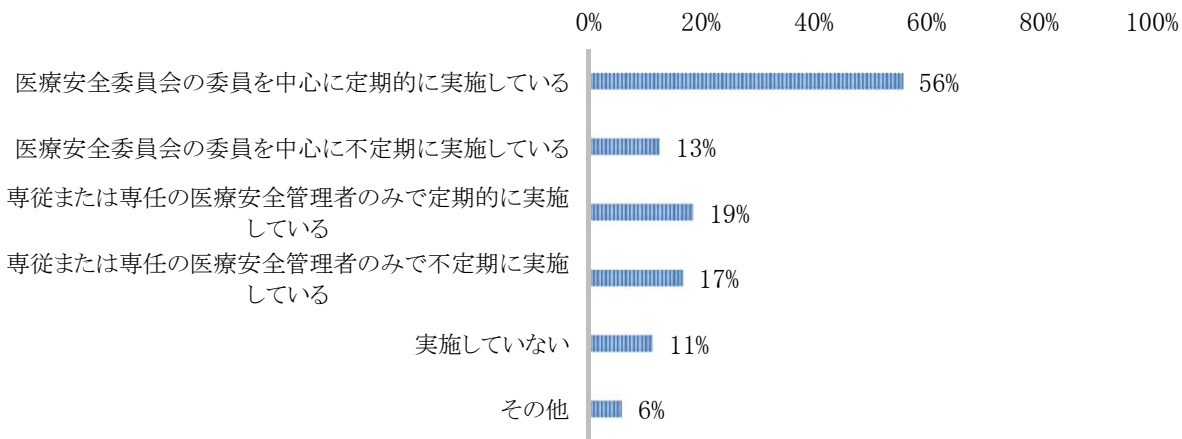
23. 日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業に参加していますか。

- 医療事故情報、ヒヤリハット事例(発生件数情報または事例情報)の双方を報告している
- 医療事故情報のみを報告している
- ヒヤリハット事例(発生件数情報または事例情報)のみを報告している
- 参加していない
- 無回答

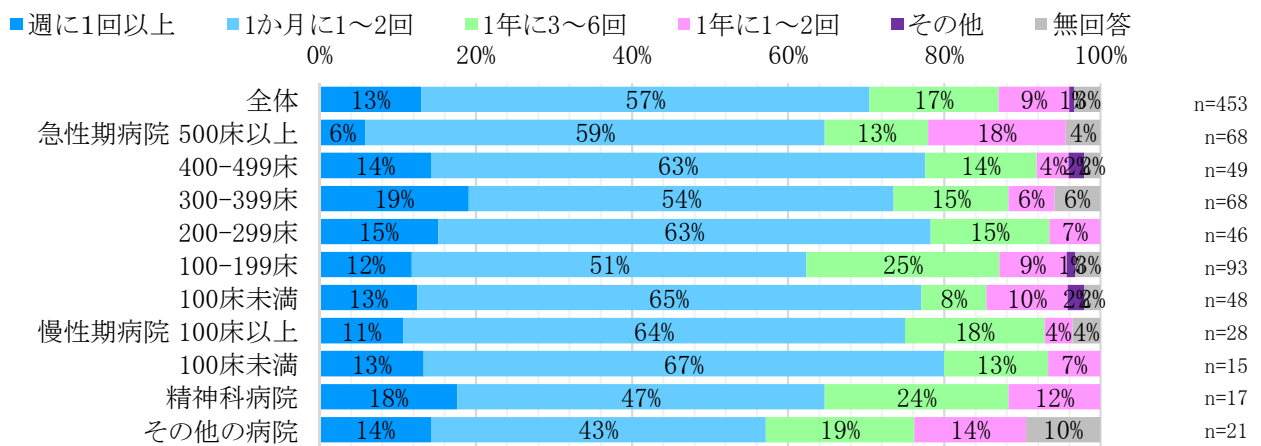


資料7

24. 医療安全管理を目的とした職場巡視を実施していますか。(当てはまるもの全て選択)



25. 問24で「医療安全委員会の委員を中心に実施している」と回答した場合、その頻度をお答えください。



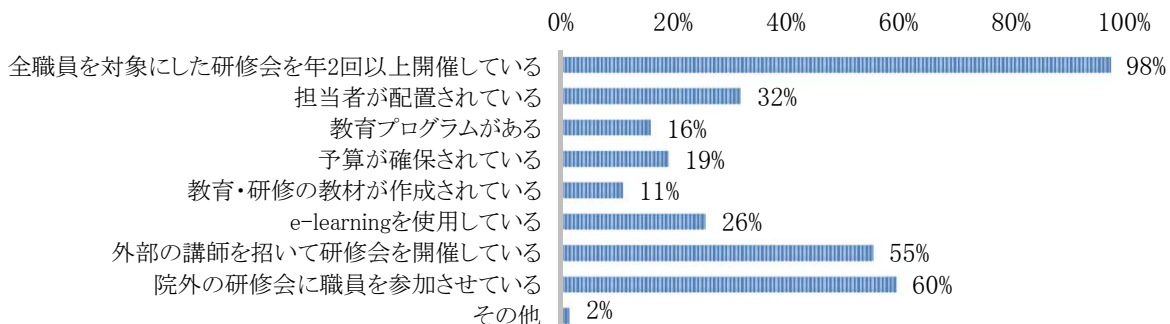
26. 問24で「医療安全委員会の委員を中心に実施している」と回答した場合、巡視する場所(部署)をどのように選んでいますか。

(自由記載、省略)

27. 問24で「医療安全委員会の委員を中心に実施している」と回答した場合、巡視で着目する点(テーマやチェックポイント)はどのように選んでいますか。

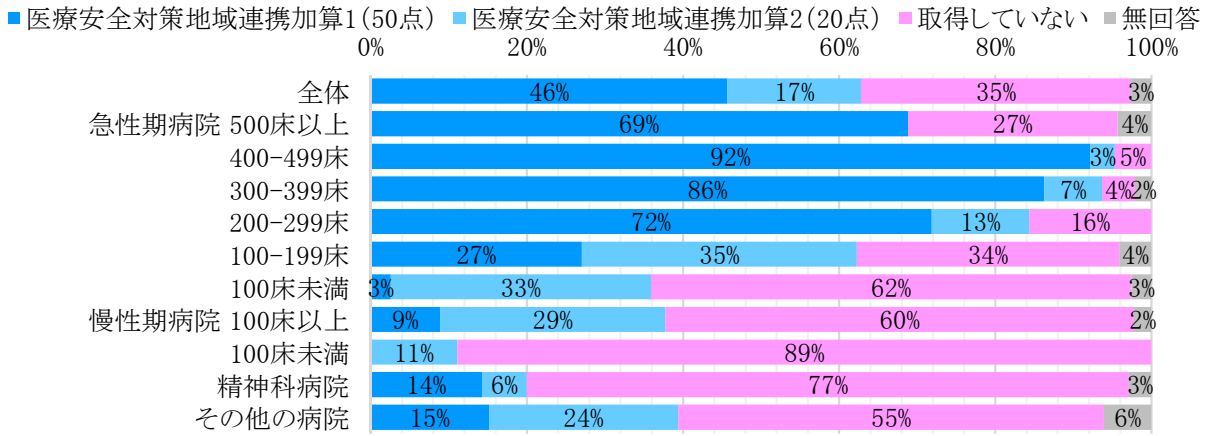
(自由記載、省略)

28. 医療安全管理に関する教育・研修の現状についてお答えください。(当てはまるもの全て選択)

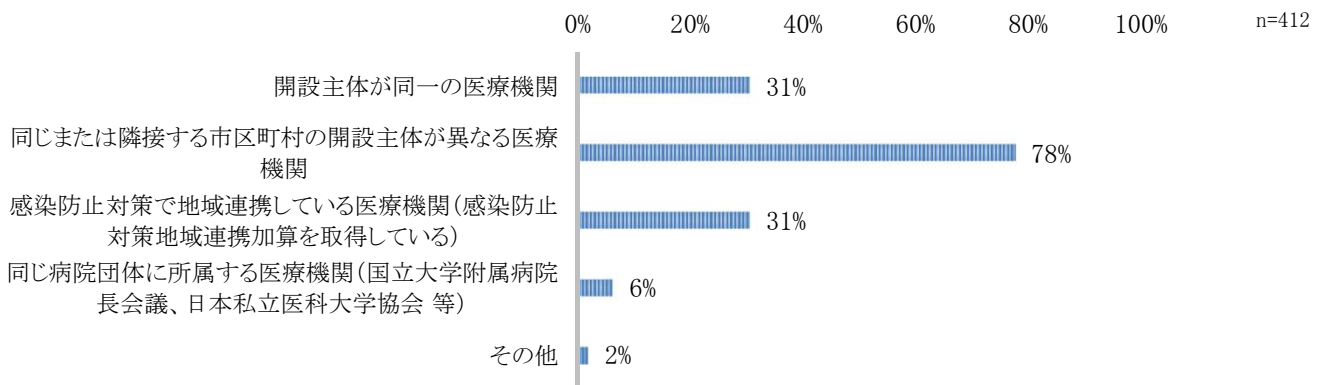


資料7

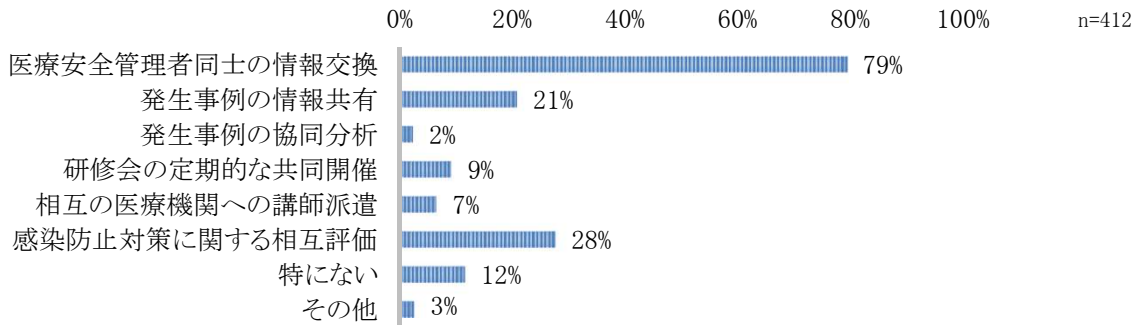
29. 診療報酬で医療安全対策地域連携加算を取得していますか。



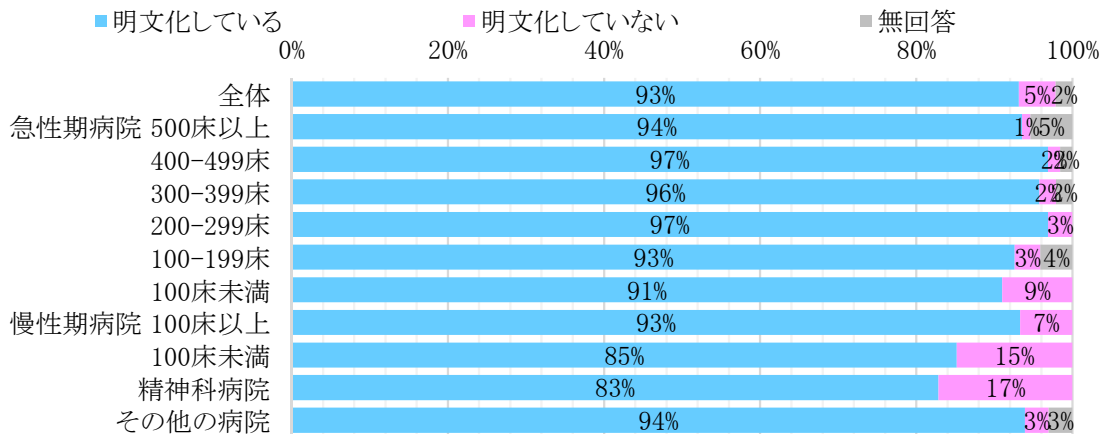
30. 問29で加算を取得していると回答した場合、どのような医療機関と連携していますか。(当てはまるもの全て選択)



31. 問29で加算を取得していると回答した場合、医療安全対策に関する相互評価のほかに、当該連携病院と協働しているものがあれば選択してください。(当てはまるもの全て選択)

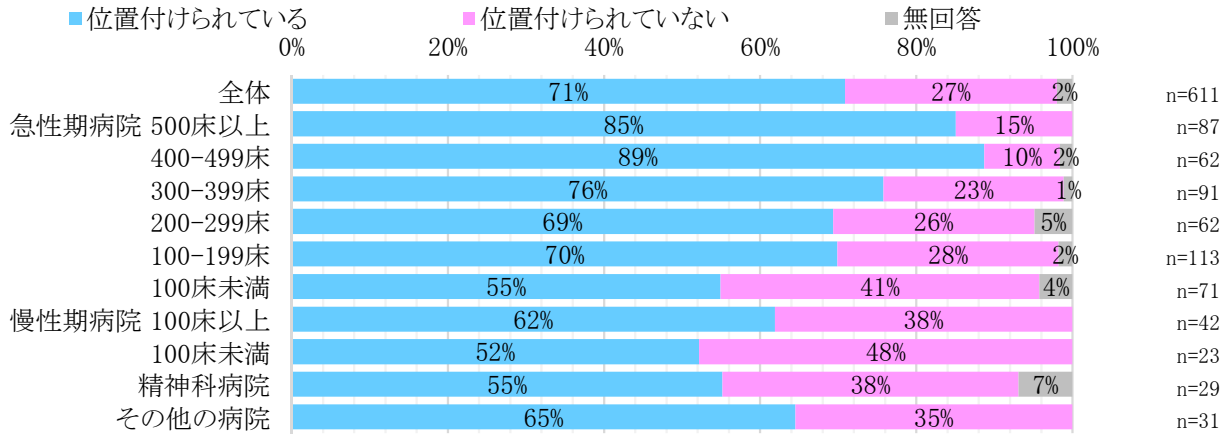


32. 病院の経営理念・目標等を明文化していますか。

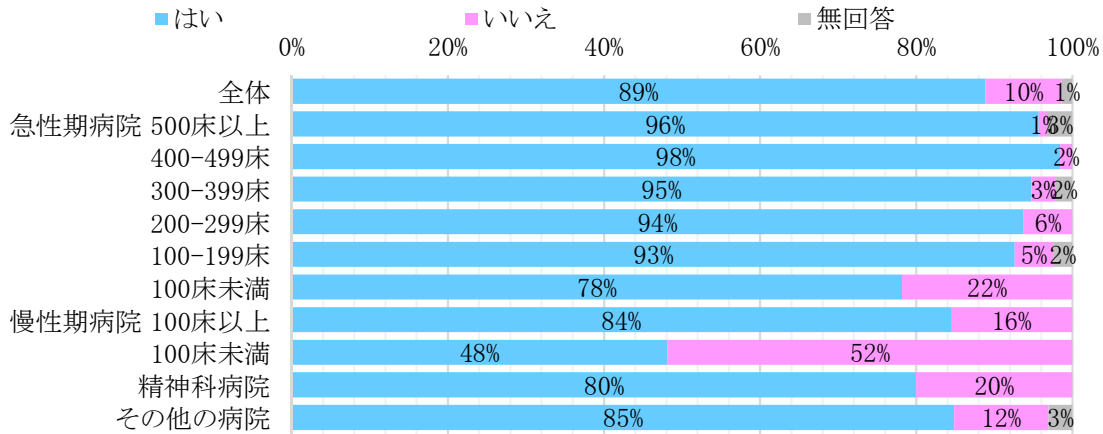


資料7

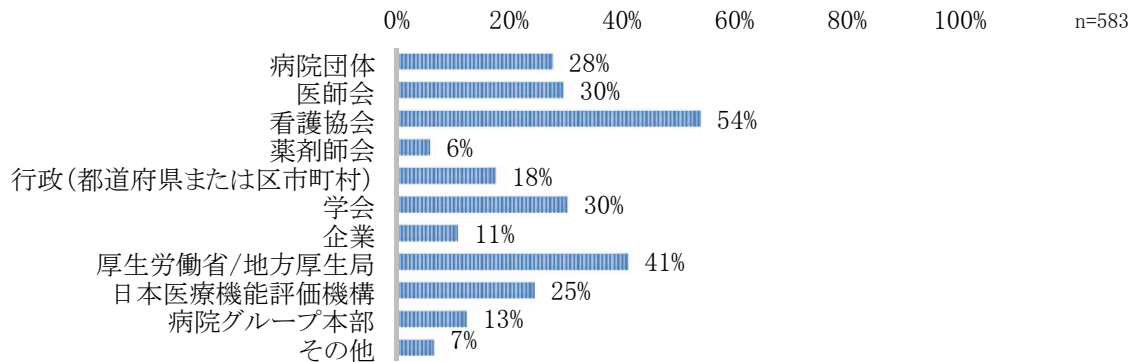
33. 問32で「明文化している」と回答した場合、その中に院内の医療安全管理が位置付けられていますか。



34. 最近1年以内に、外部機関による医療安全に関する教育・研修を、貴院の幹部や医療安全の実務担当者が受けましたか。

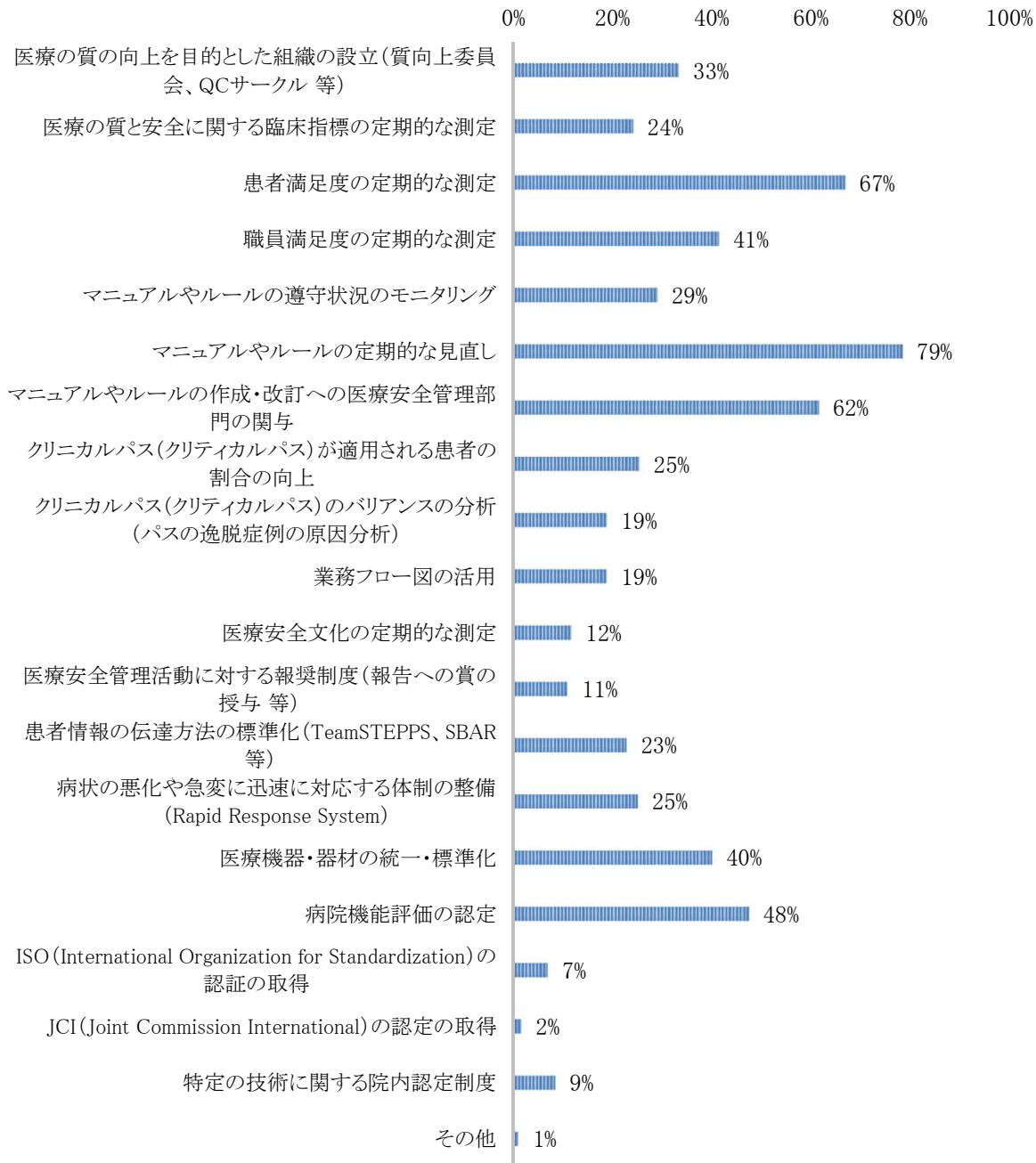


35. 問34で「はい」と回答した場合、その医療安全に関する教育・研修を主催している団体は何でしたか。
(当てはまるもの全て選択)

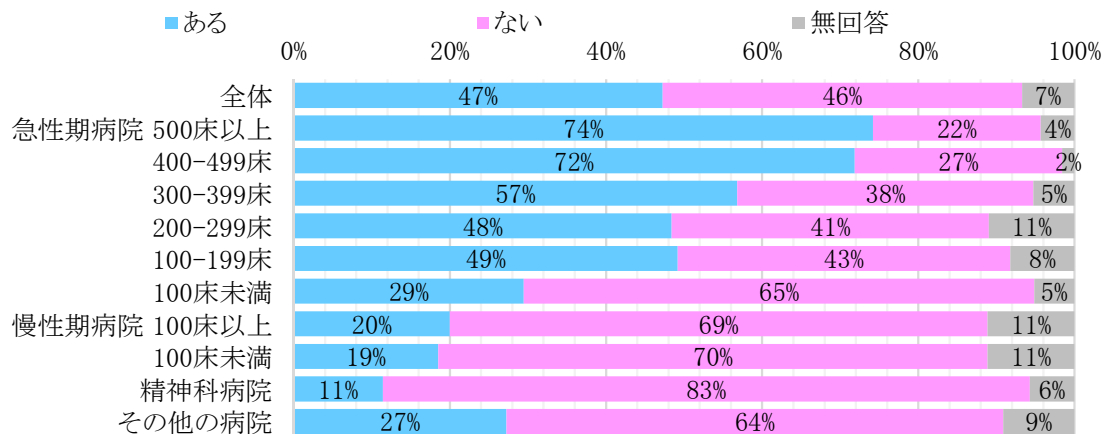


資料7

36. 貴院で実施されている医療の質向上を目的とした取組みを回答してください。(当てはまるもの全て選択)

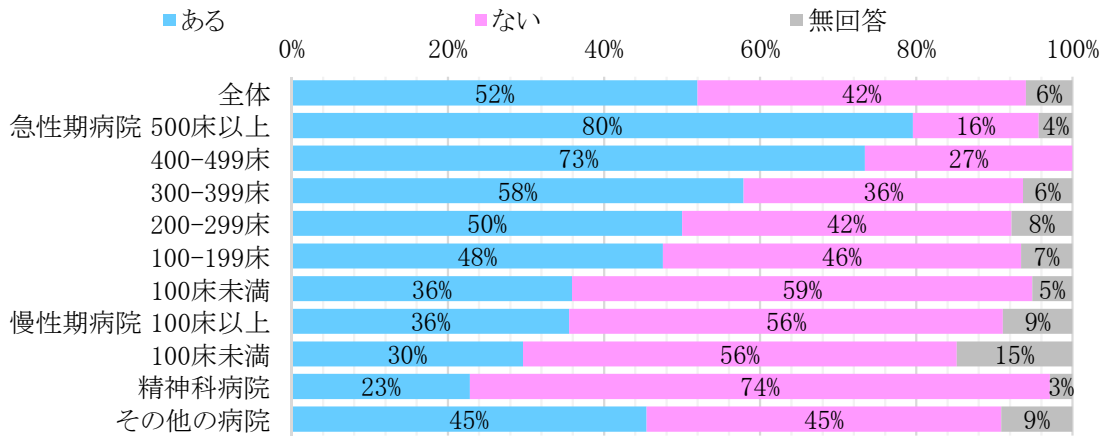


37. 病理診断報告書の確認漏れ(主治医の未読)を防ぐ仕組みがありますか。

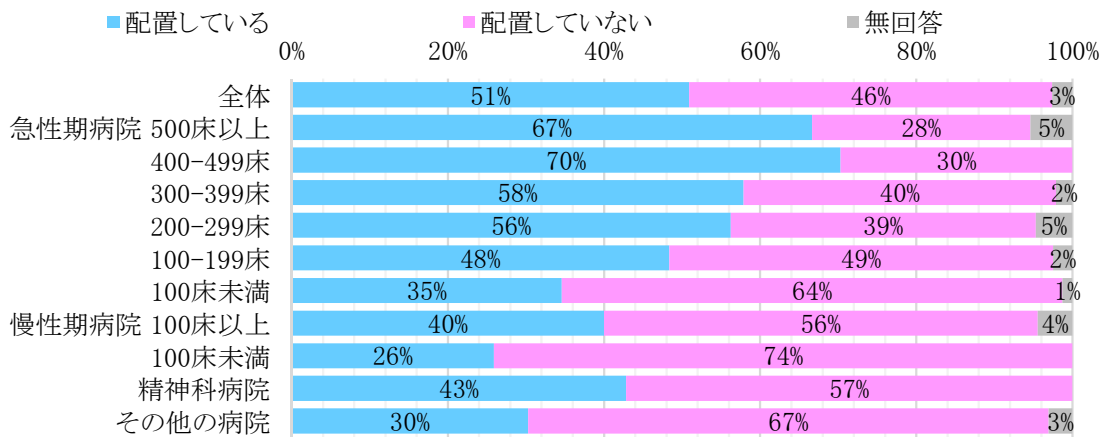


資料7

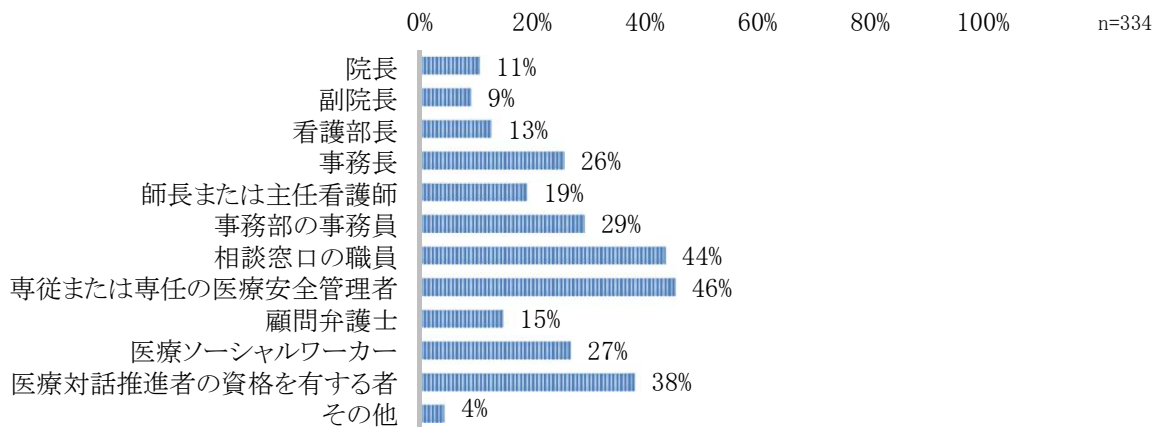
38. 画像診断報告書の確認漏れ(主治医の未読)を防ぐ仕組みがありますか。



39. 医療紛争が起きた際、当事者である患者と医療者の対話を促進する役割を担う者(医療対話推進者等)を配置していますか。

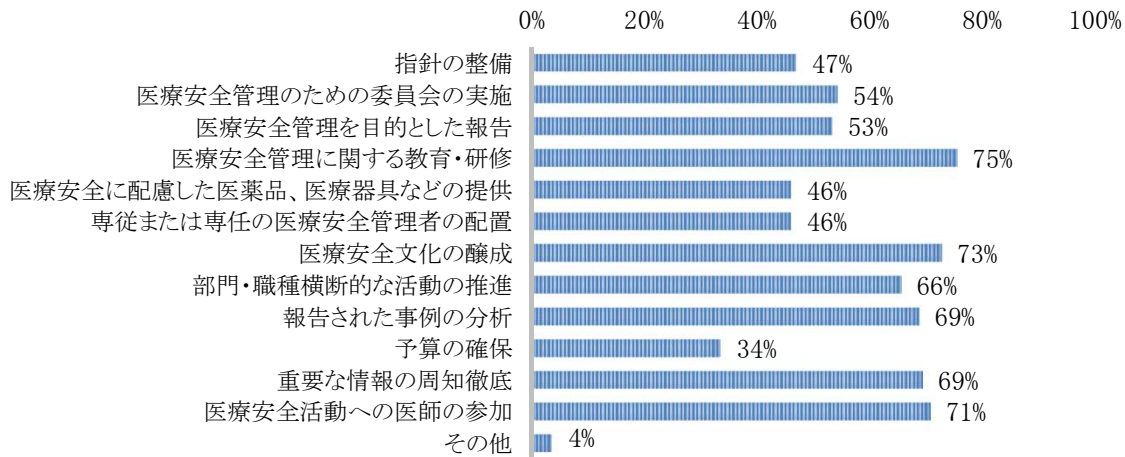


40. 問39で「配置している」と回答した場合、それはどのような立場の方ですか。(当てはまるもの全て選択)

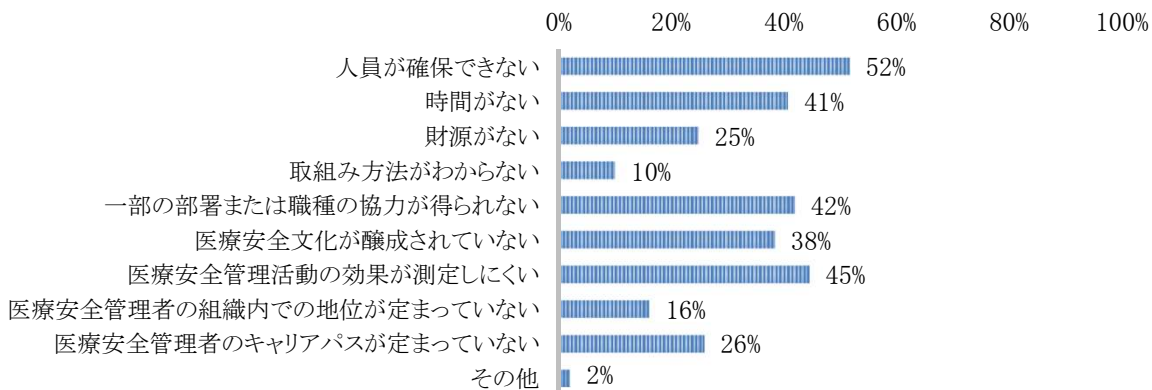


資料7

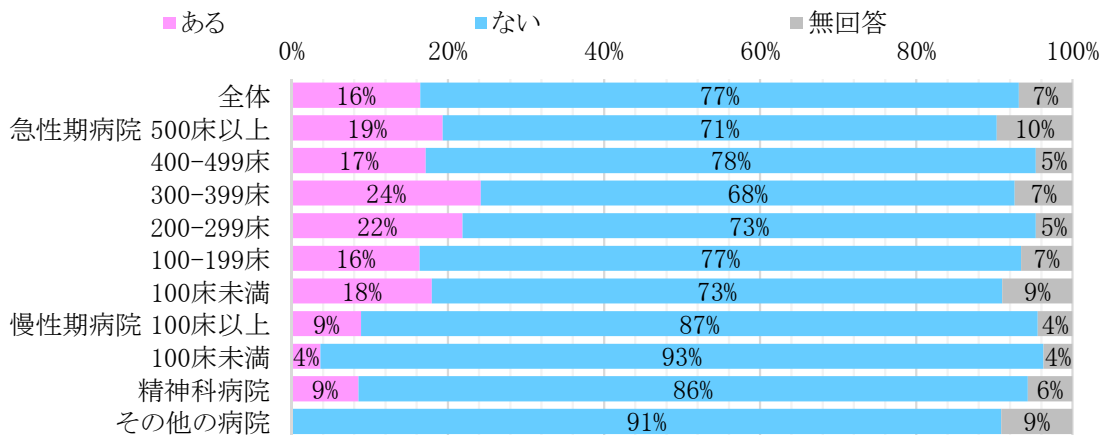
41. 貴院として、医療安全のために特に重要と考えられる事項は何ですか。(当てはまるもの全て選択)



42. 貴院で安全確保のための方策を実施するにあたっての問題点は何ですか。(当てはまるもの全て選択)



43. **最近3年以内**に、介護保険事業所(特養や老健、訪問看護・介護など)との患者情報の交換・提供の不足や不備に起因した事故やヒヤリハットを経験したことがありますか。



44. 貴院の医療安全管理活動により、医療安全の向上に効果があったと思われる事例がありましたら、下の例にならってその内容をお教えてください。

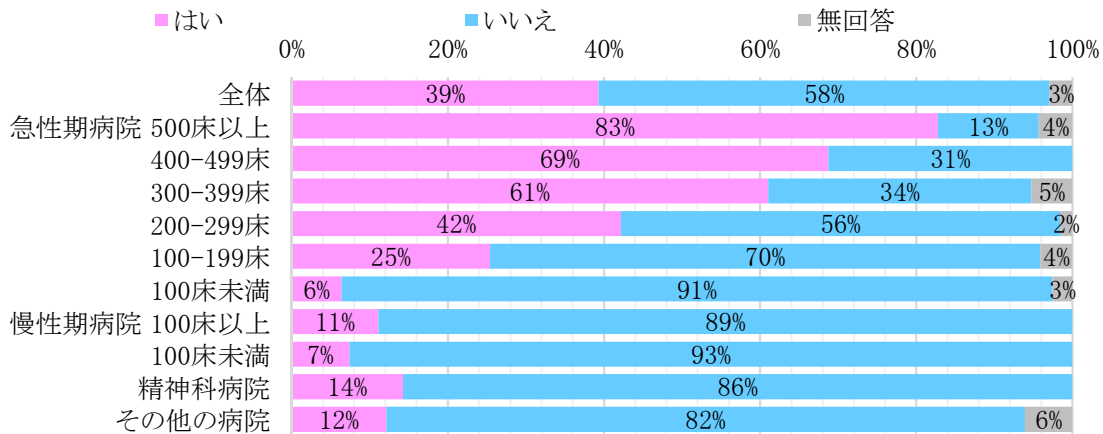
(自由記載、省略)

資料7

<医療事故への対応>

45. 最近3年以内に、患者さんが死亡し、あるいは重篤な後遺障害を残すような医療事故を経験しましたか。
†

(†国立大学医療安全管理協議会による分類でレベル5またはレベル4bに該当する症例)



「はい」の場合、それは何件ですか。

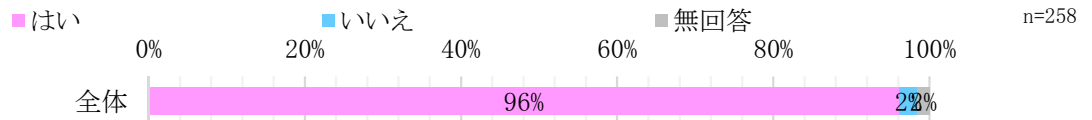
死亡症例 2件 (中央値) n=258
重篤な後遺障害が残った症例 1件

そのうち、院内医療事故調査委員会等により、原因究明し、その結果を報告書等にとりまとめたのは何件ですか。

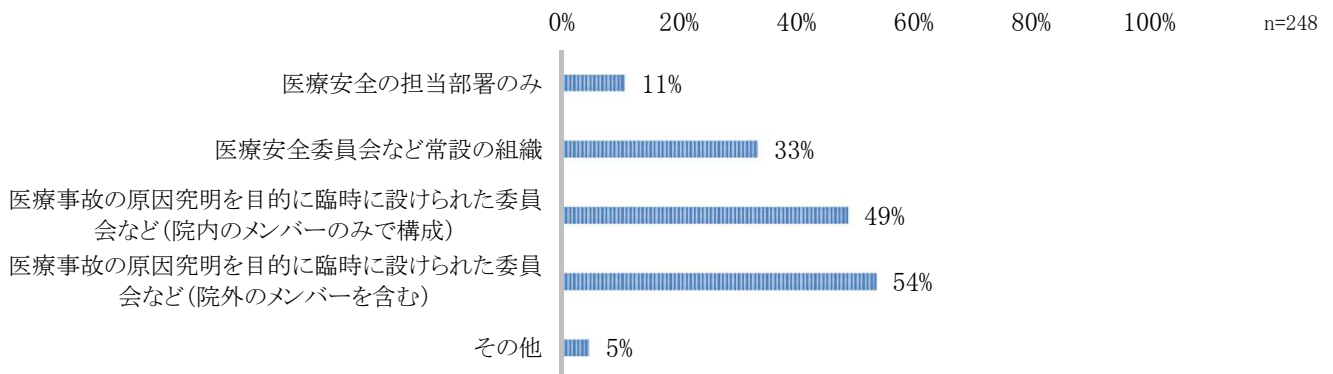
1件 (中央値) n=258

問45で「はい」と回答された場合、その医療事故の原因究明の方法や事故報告書の取り扱い等についてお聞きします。もし、2例以上の重大な医療事故(死亡あるいは重篤な後遺障害が残った事例)を経験された場合には、**もっとも最近のもの**について回答して下さい。

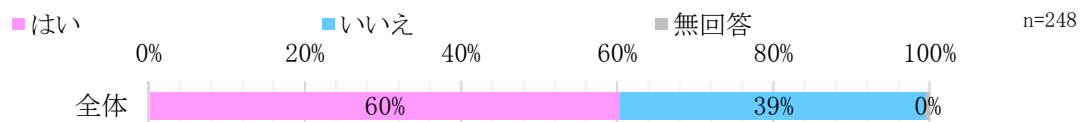
46. 医療事故の原因究明を行ないましたか。



47. 原因究明はどのような組織で行ないましたか。(当てはまるもの全て選択)

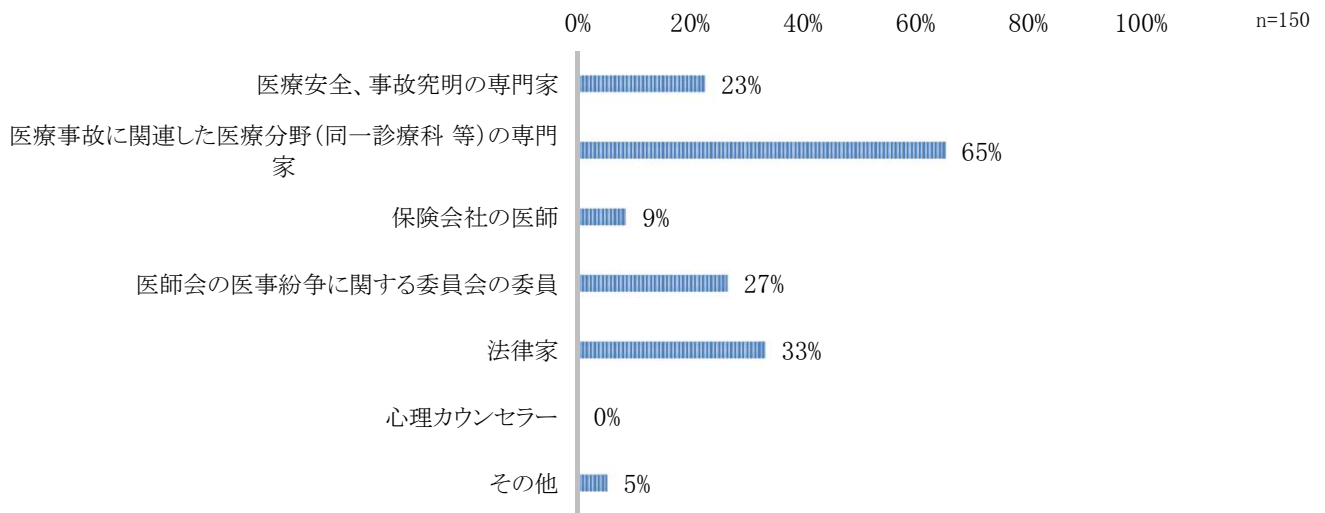


48. 原因究明にあたって外部の専門家の支援を受けましたか。

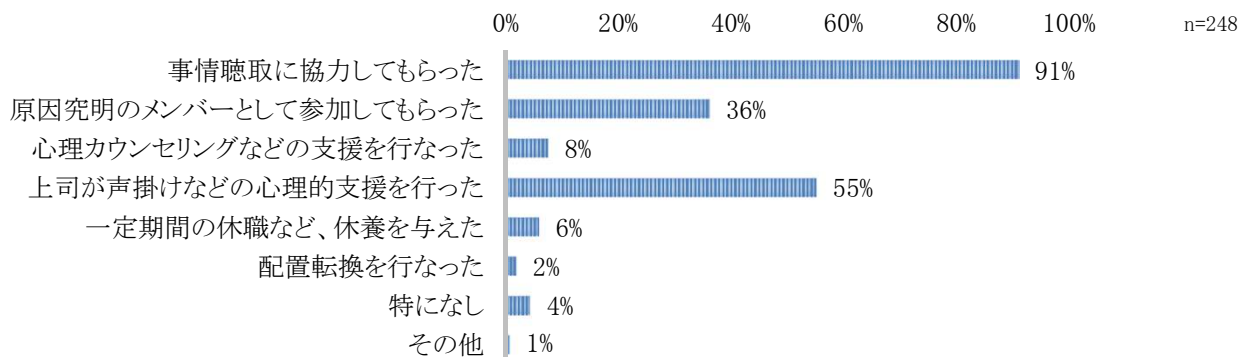


資料7

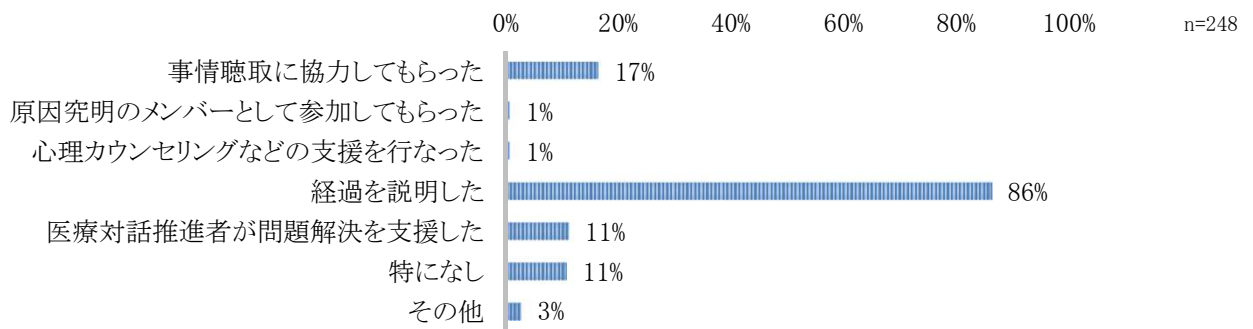
49. 問48で「はい」と回答した場合、それはどのような方ですか。(当てはまるもの全て選択)



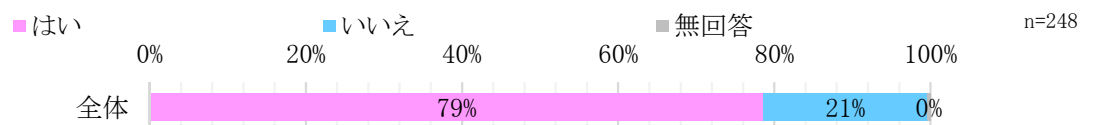
50. 原因究明にあたって当事者の職員への対応はどうしましたか。(当てはまるもの全て選択)



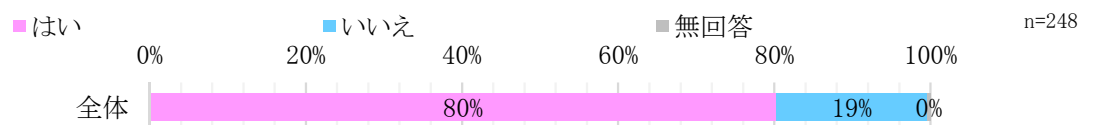
51. 原因究明にあたって患者・家族への対応はどうしましたか。(当てはまるもの全て選択)



52. 事故調査報告書は作成しましたか。

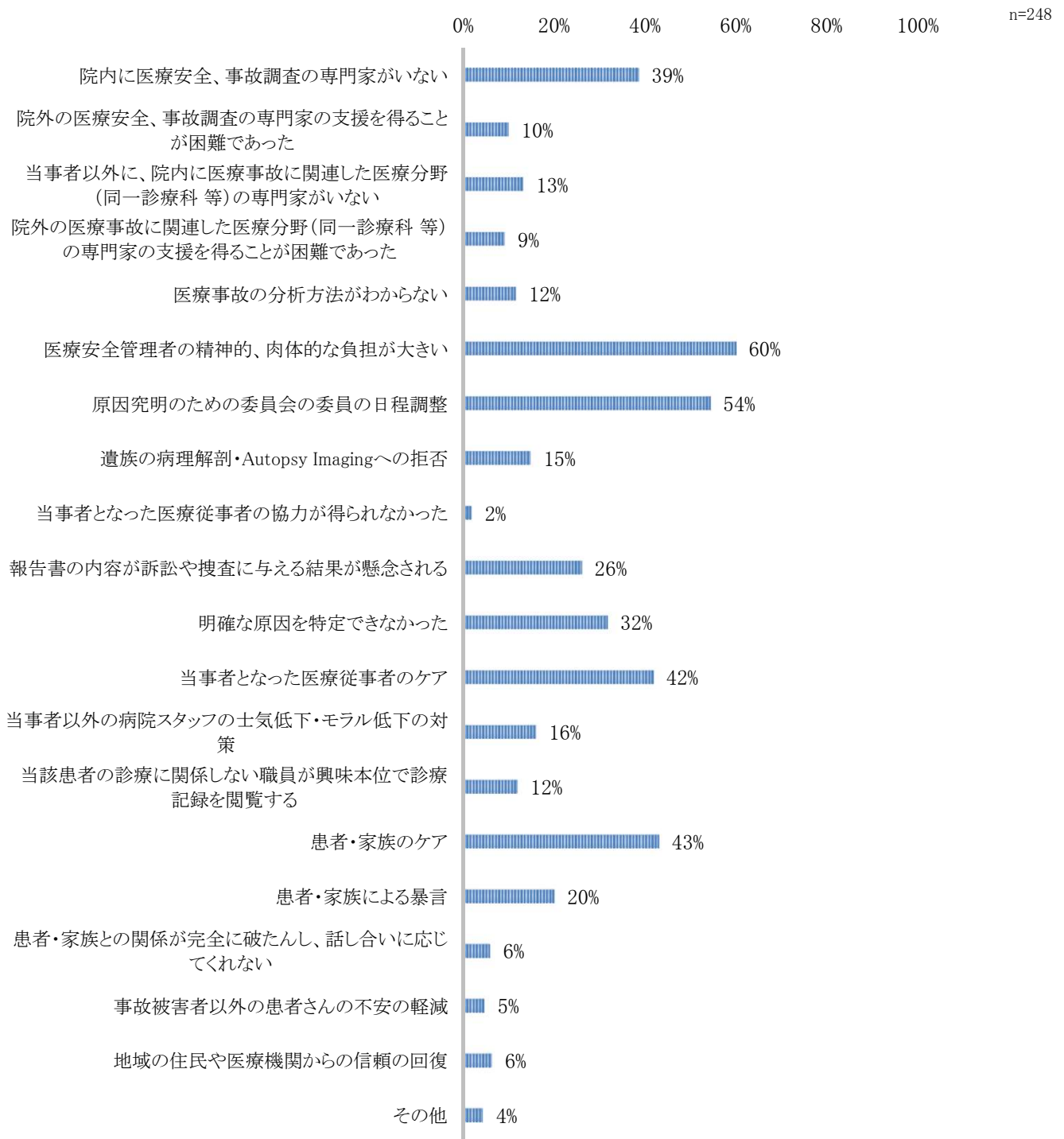


53. 原因究明の結果について患者・家族へ説明しましたか。



資料7

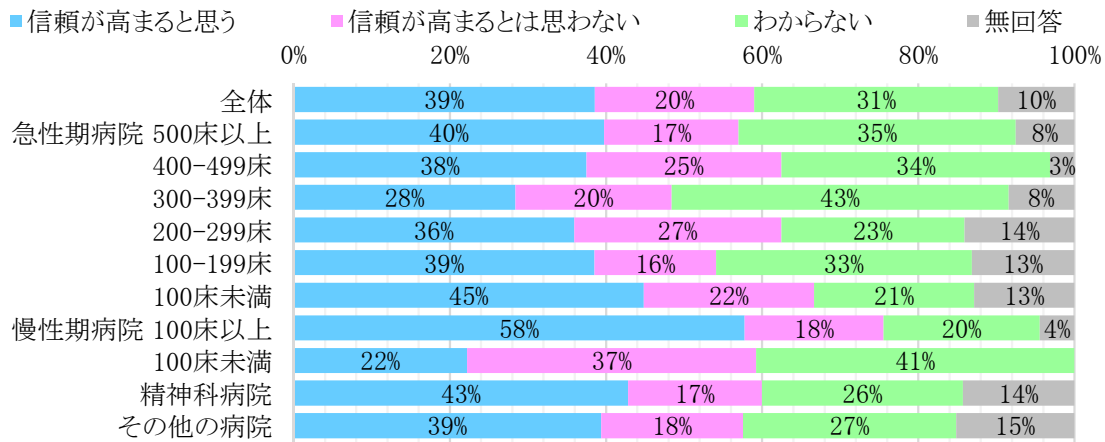
54. 原因究明全般にあたって困ったことは何ですか。(当てはまるもの全て選択)



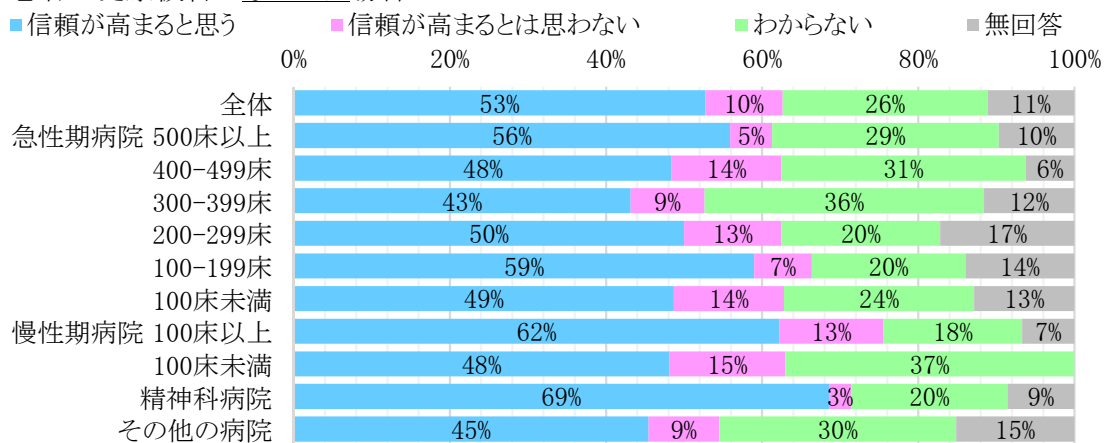
資料7

55. 患者・家族に医療事故が起きた事を説明することにより、患者・家族の医療機関への信頼が高まると思えますか。

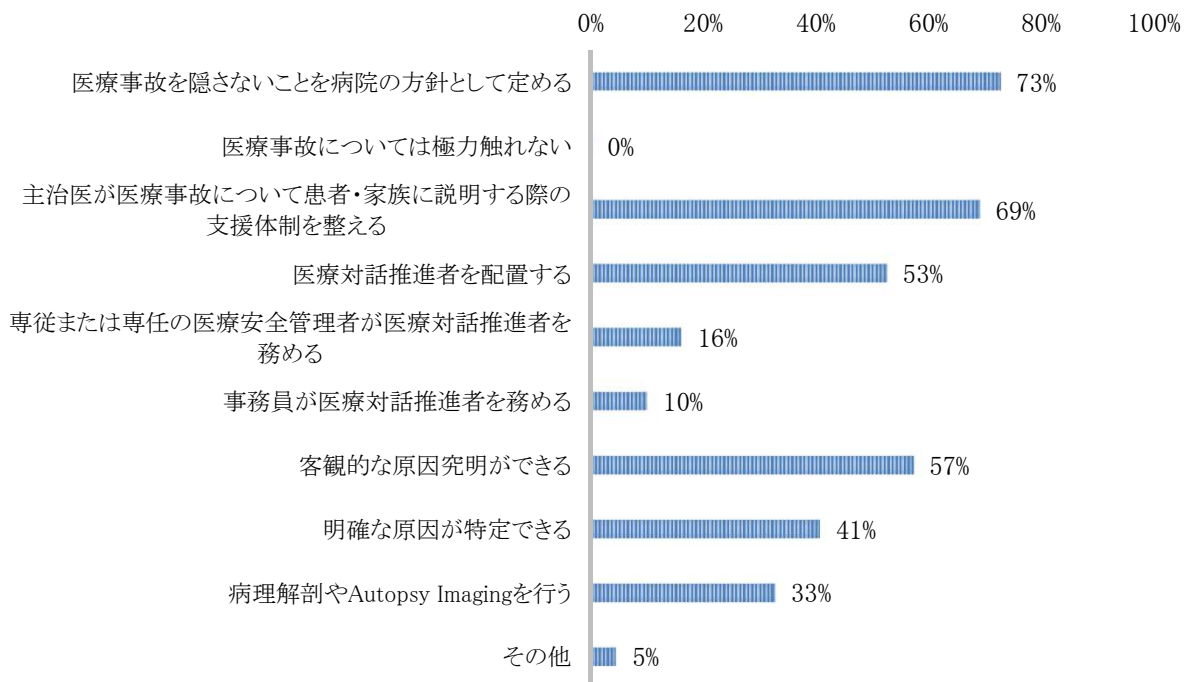
<患者に健康被害があった場合>



<患者に健康被害がなかった場合>

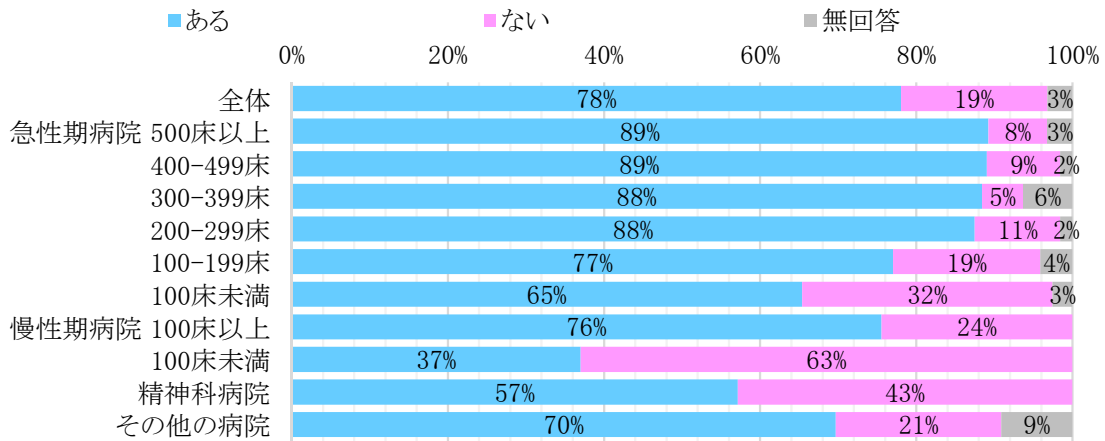


56. どのような条件を整えれば、患者・家族に医療事故が起きた事を説明することにより、患者・家族の医療機関への信頼が高まると思いますか。(当てはまるもの全て選択)

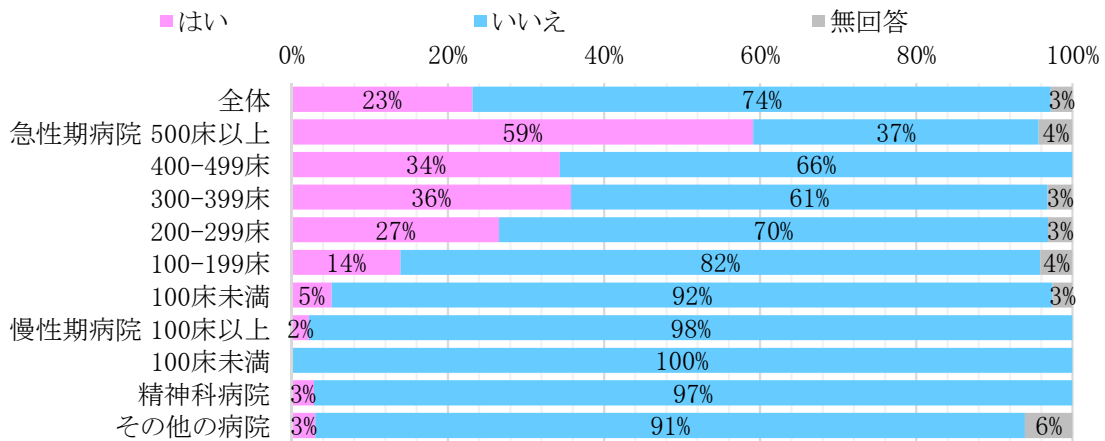


<医療事故調査制度>

57. 医療事故調査・支援センターへの報告が必要な医療事故が発生した際の調査方法について定めた指針やマニュアルはありますか。



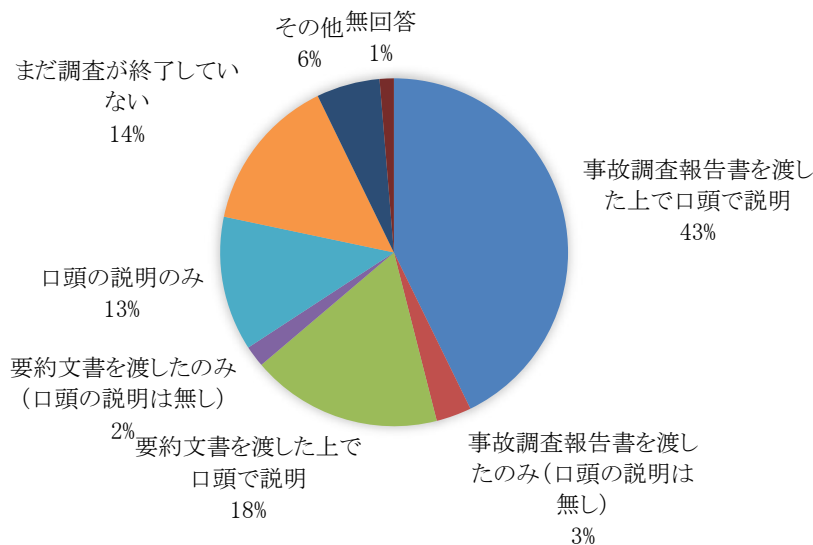
58. 最近3年以内に、医療事故調査・支援センター（日本医療安全調査機構）へ医療事故の届け出をしましたか。



「はい」と回答した場合の件数 1件（中央値）

59. 問58で「はい」と回答した場合、遺族への説明はどのように行いましたか。

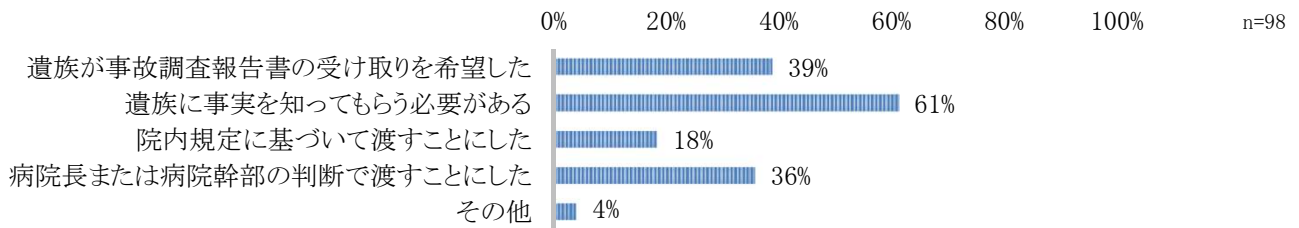
n=152



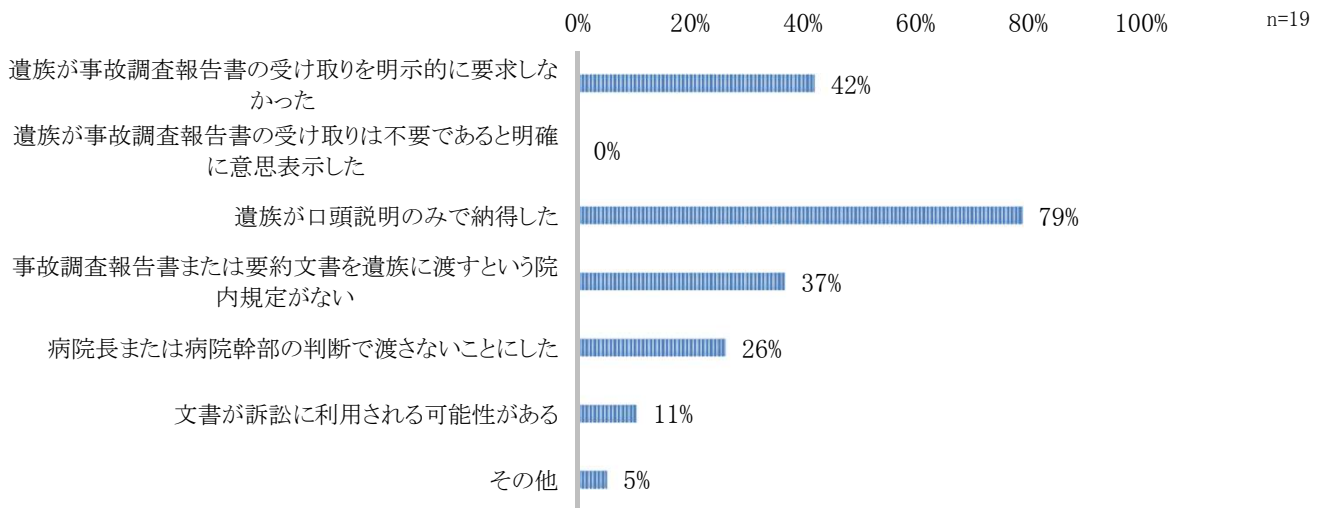
注: 「事故調査報告書」は医療事故調査・支援センターに提出した文書と同じものを指す。
「要約文書」は遺族にわかりやすい文章に編集した文書を含む。

資料7

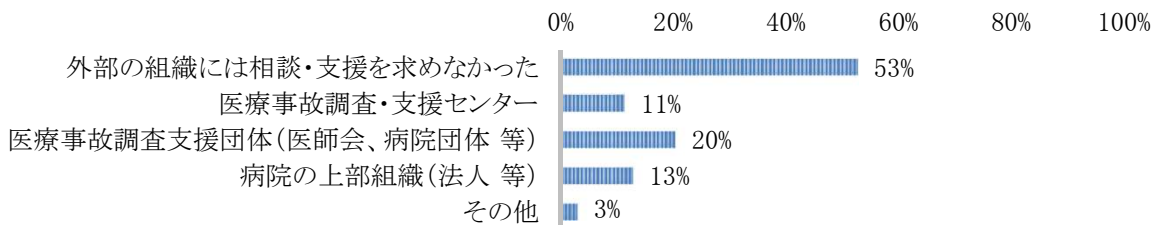
60. 問59で、事故調査報告書または要約文書を渡したと回答した場合、その理由として当てはまるものを選択してください。(当てはまるもの全て選択)



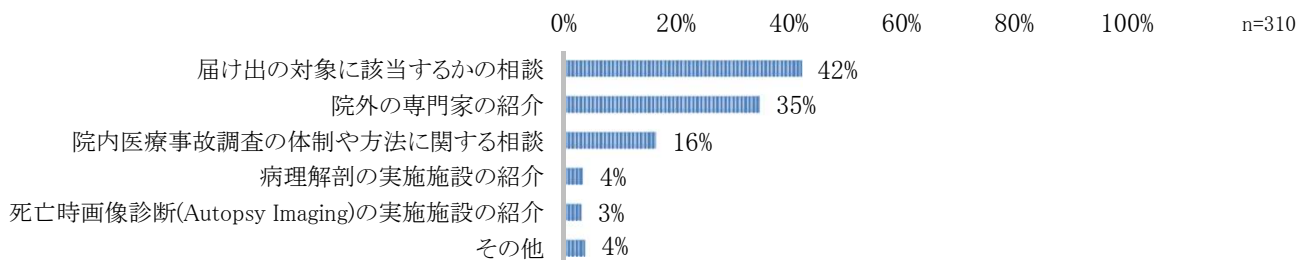
61. 問59で「口頭の説明のみ」と回答した場合、文書を渡さなかった理由として当てはまるものを選択してください。(当てはまるもの全て選択)



62. 医療事故の届け出の判断や原因究明にあたり、次の組織に相談したり支援を求めたりしましたか。(当てはまるもの全て選択)

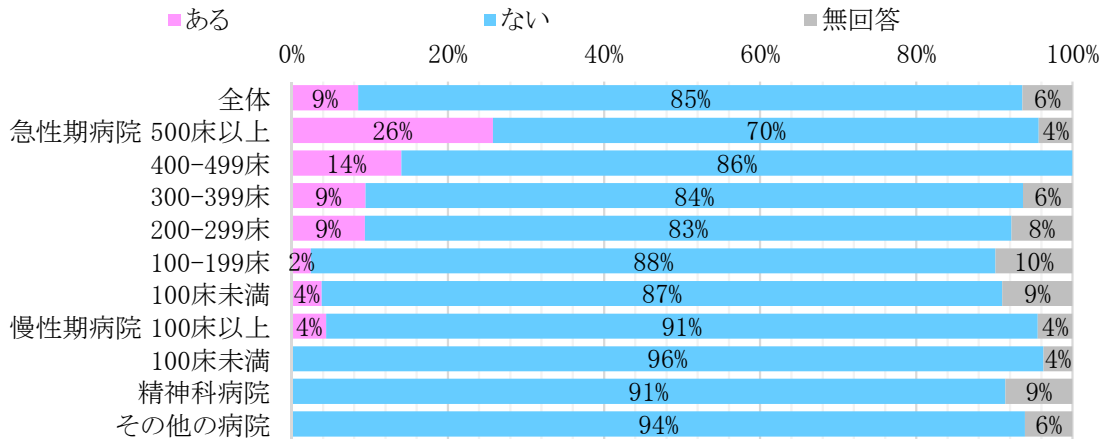


63. 問62でいずれかの組織に相談・支援を求めたと回答した場合、どのような相談または支援を求めましたか。(当てはまるもの全て選択)

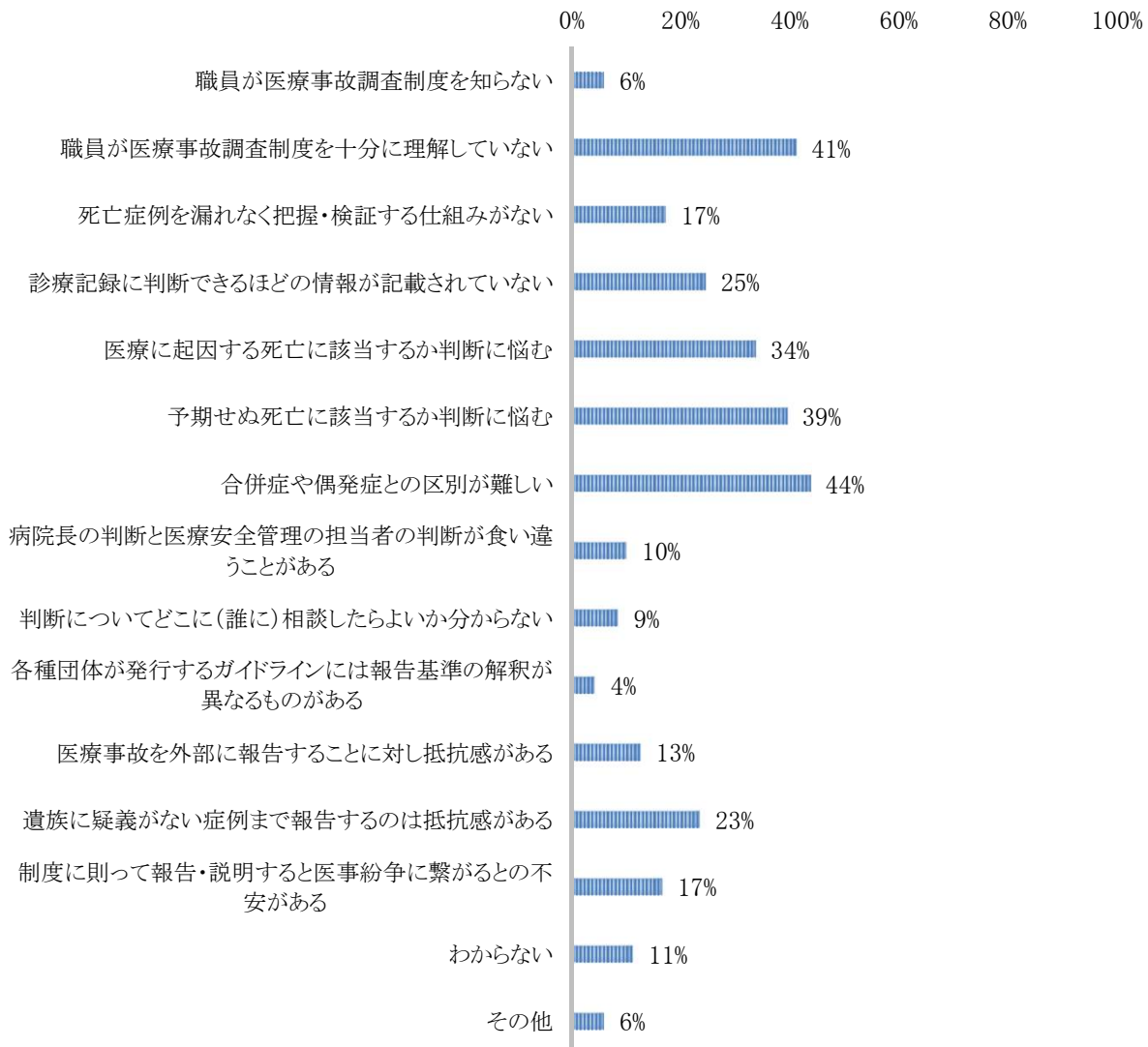


資料7

64. 遺族から、医療事故調査・支援センターへの届け出の要請または死亡原因究明の要請を受けたことがありますか。

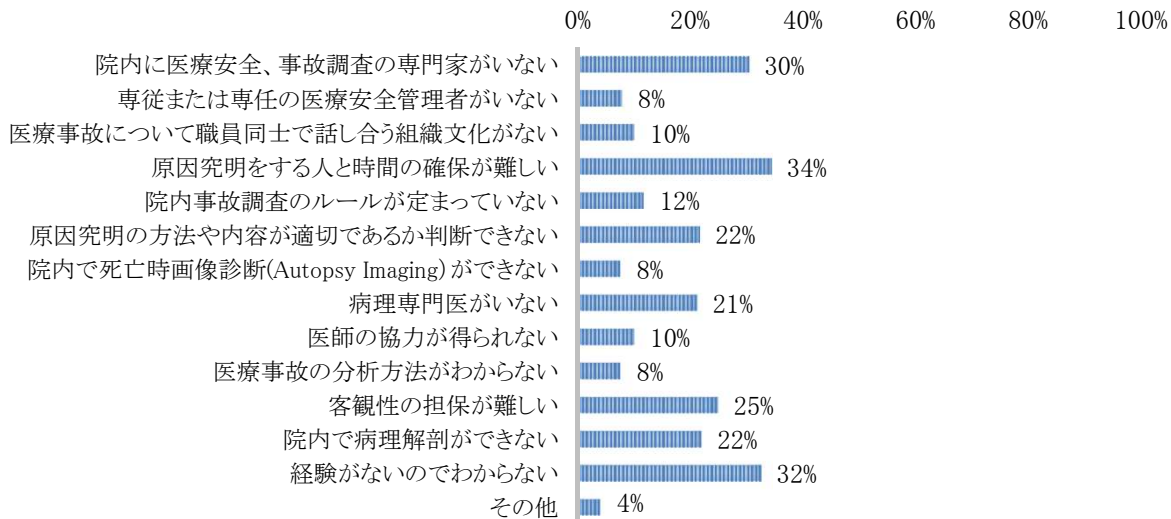


65. 医療事故調査・支援センターへ医療事故を報告するか否かの判断をするうえで、障害となっているのは何ですか。(当てはまるもの全て選択)



資料7

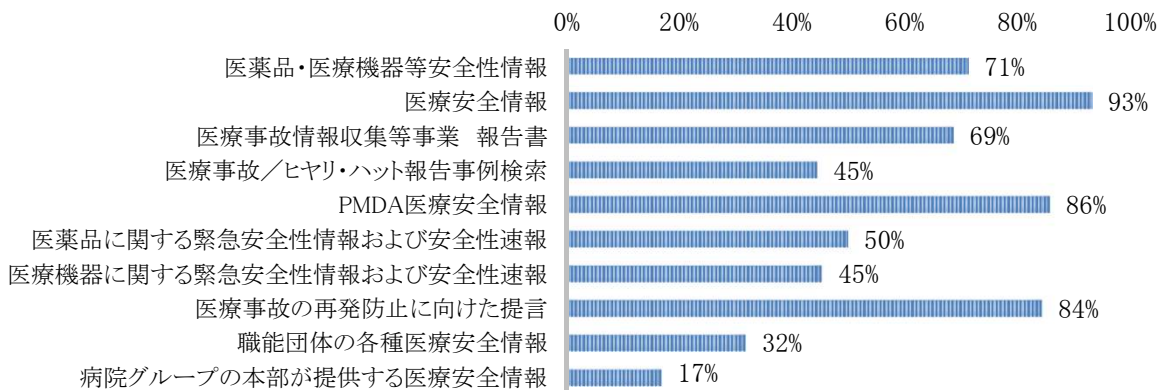
66. 医療事故調査・支援センターへの報告が必要な医療事故の原因究明をするうえで、障害となっているのは何ですか。(当てはまるもの全て選択)



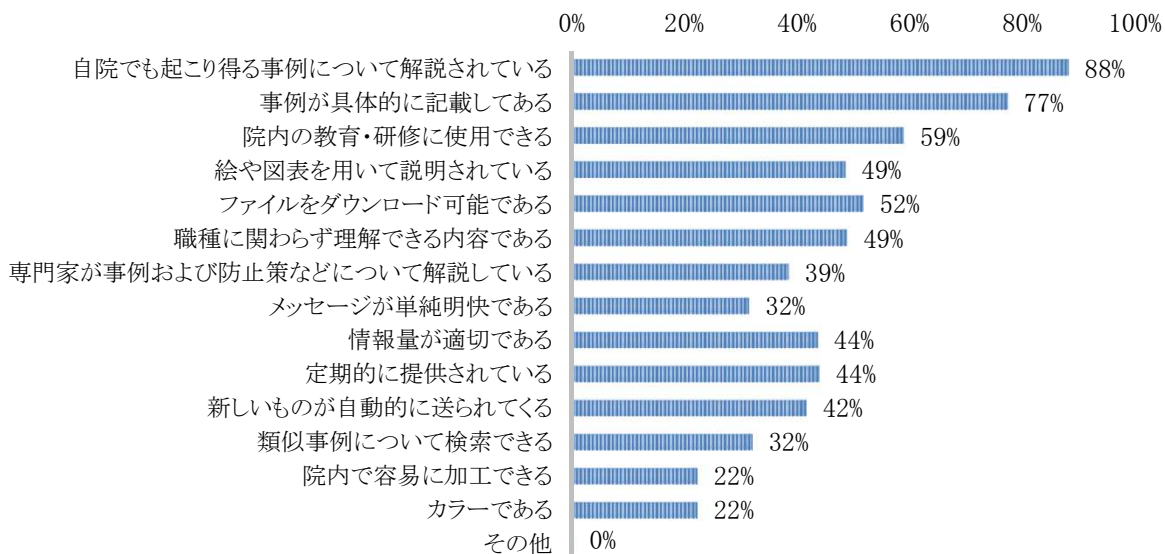
<医療安全情報の利用状況>

さまざまな組織が医療安全管理に関する情報を発信しています。それぞれの医療安全情報について、貴院での利用状況をお答えください。

67. 次のうち、院内で利用しているものを全て選んでください。(当てはまるもの全て選択)



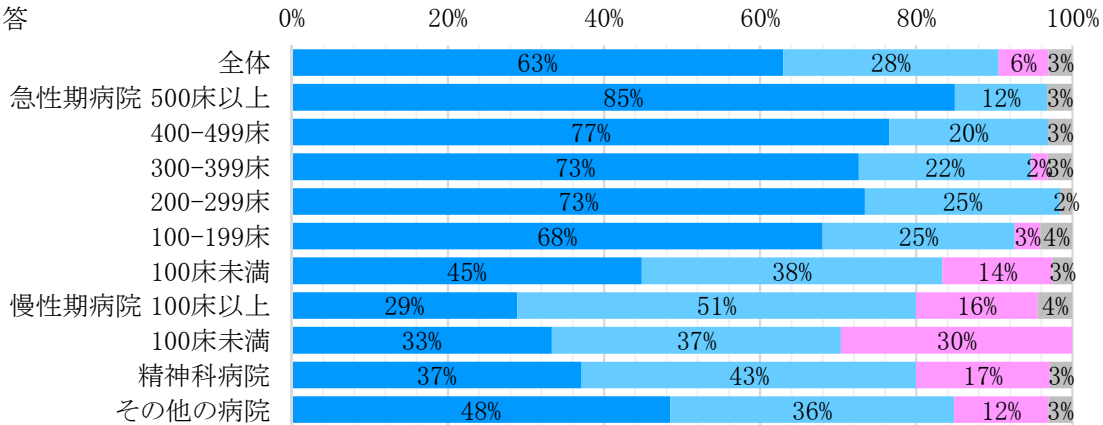
68. 院内で利用する医療安全情報を選択するにあたって重視するのは何ですか。(当てはまるもの全て選択)



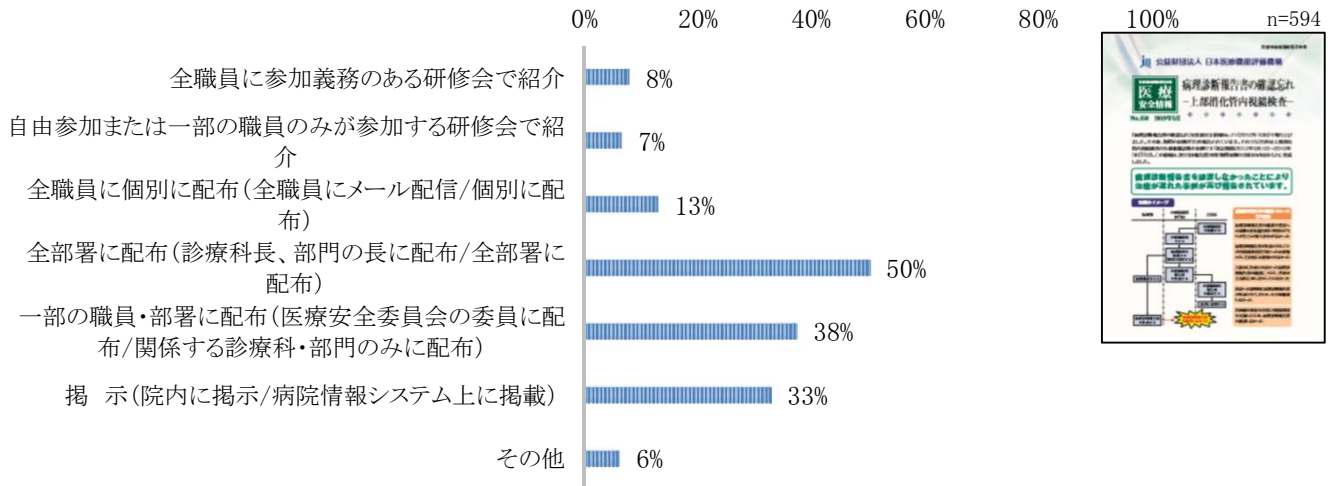
資料7

69. 医療安全情報(日本医療機能評価機構が毎月発行)を院内でどのように周知していますか。

- 全ての号を周知している
- 一部の号を周知している(内容等に応じて)
- 周知していない(利用していない/医療安全管理者が読むだけ)
- 無回答

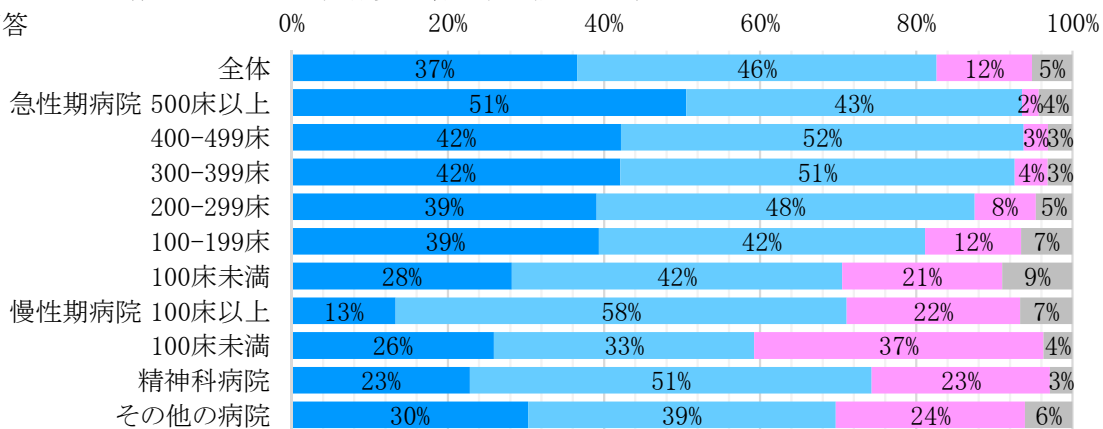


70. 問69で周知していると回答した場合、どのように周知していますか。(当てはまるもの全て選択)



71. PMDA医療安全情報(医薬品医療機器総合機構が年に数回発行)を院内でどのように周知していますか。(当てはまるもの全て選択)

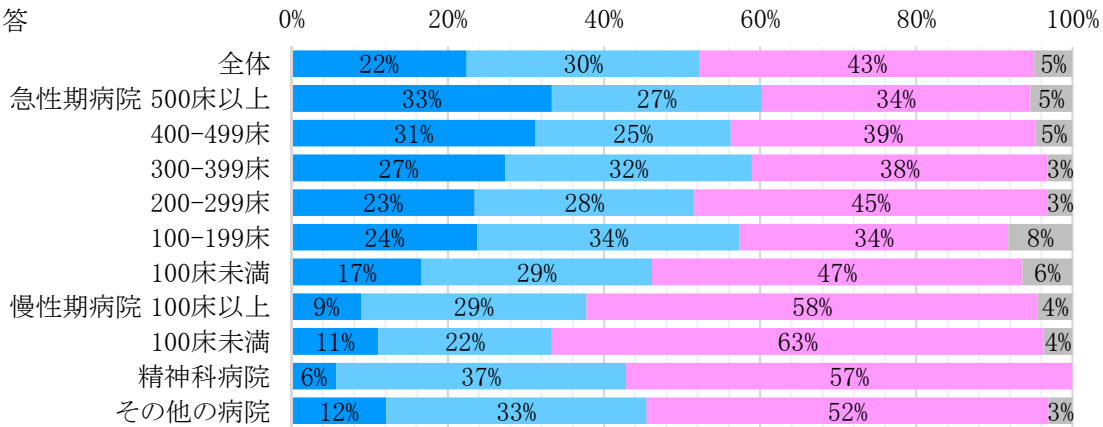
- 全ての号を周知している
- 一部の号を周知している(内容等に応じて)
- 周知していない(利用していない/医療安全管理者が読むだけ)
- 無回答



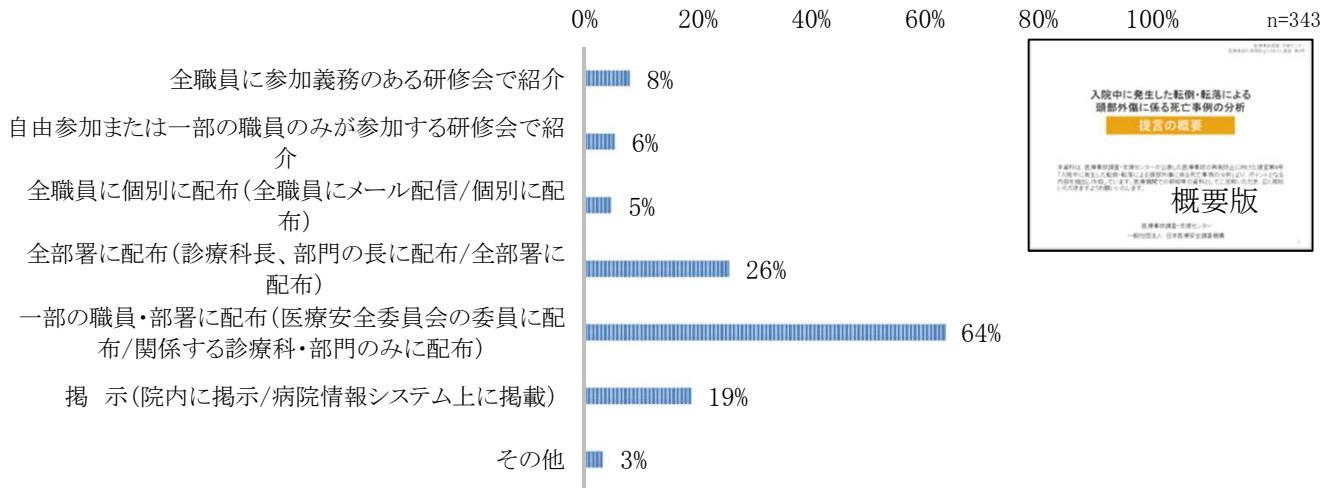
資料7

75. 医療事故の再発防止に向けた提言(日本医療安全調査機構が年に数回発行)の**概要版**を院内でどのように周知していますか。(当てはまるもの全て選択)

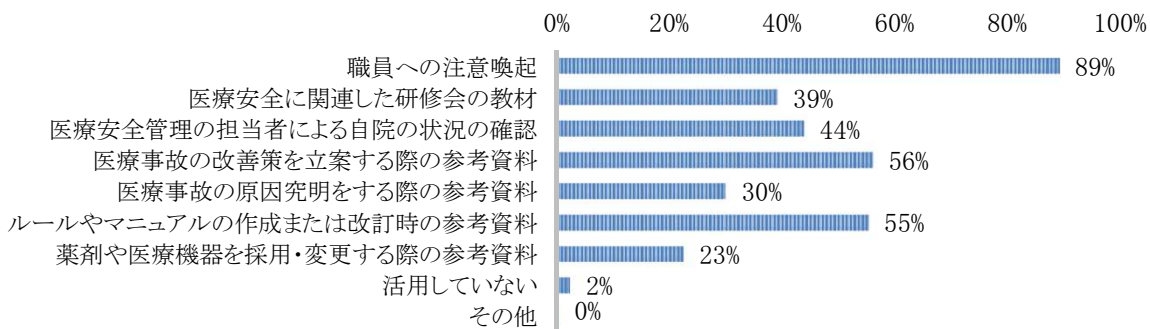
- 全ての号を周知している
- 一部の号を周知している(内容等に応じて)
- 周知していない(利用していない/医療安全管理者が読むだけ)
- 無回答



76. 問75で周知していると回答した場合、どのように周知していますか。(当てはまるもの全て選択)

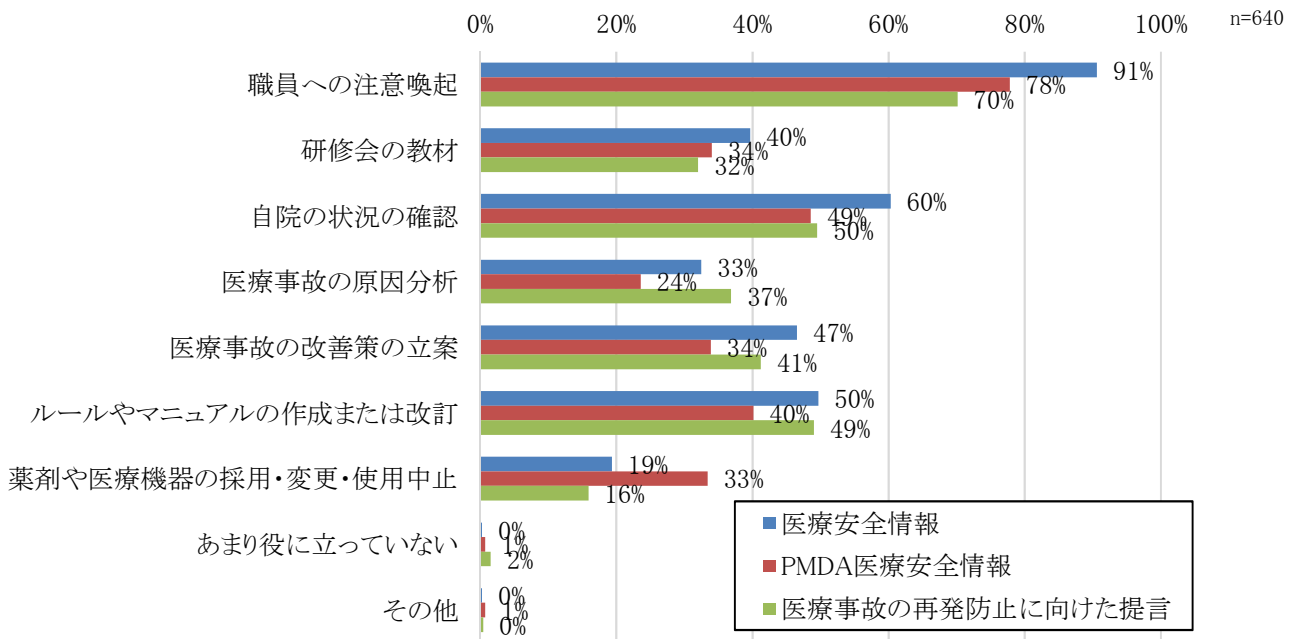


77. 各種の医療安全情報を何に**活用**していますか。(当てはまるもの全て選択)

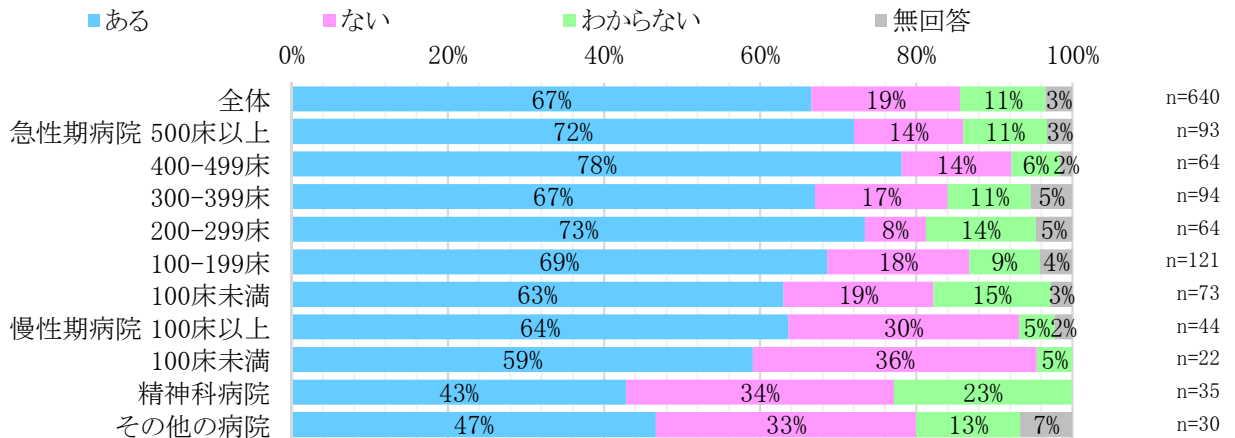


資料7

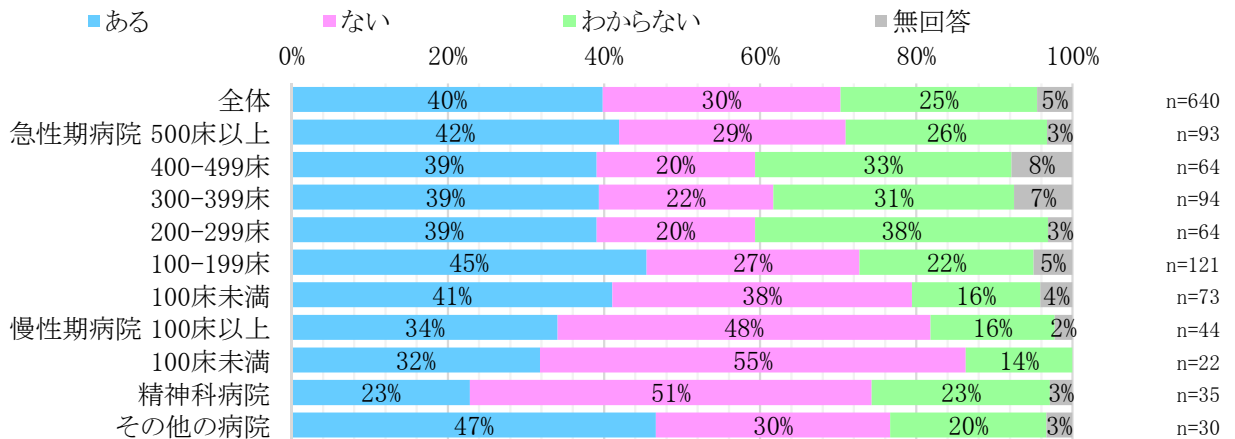
78. 各種の医療安全情報が役に立ったと思う項目を選んでください。(当てはまるもの全て選択)



79. 最近3年以内に、各種の医療安全情報に基づき、貴院のルールやマニュアルが作成または改訂されたことがありますか。



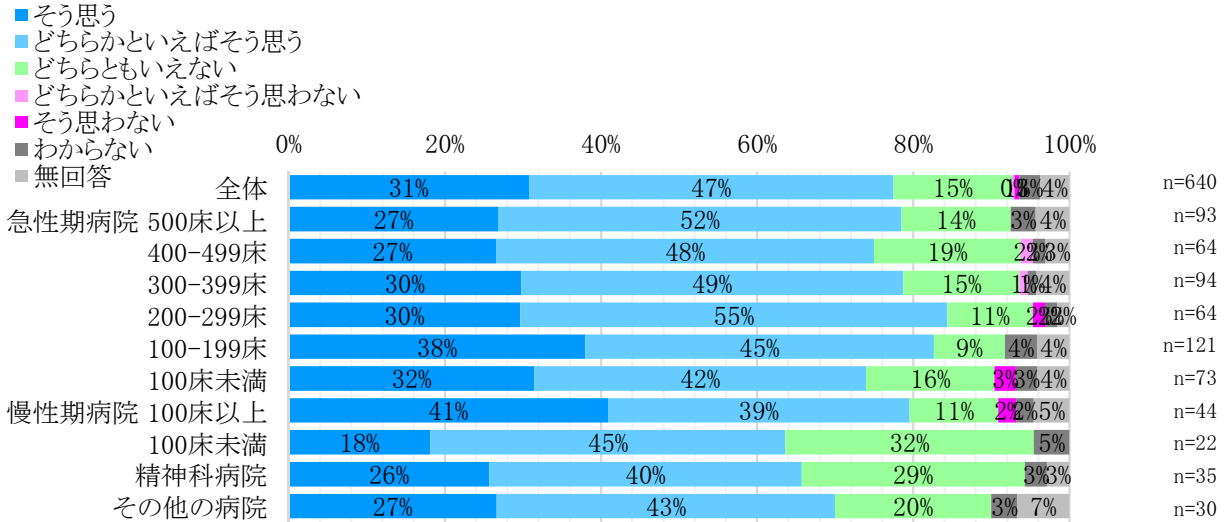
80. 最近3年以内に、各種の医療安全情報に基づき、貴院の医薬品、医療機器、器材を新規導入、変更または使用中止にしたことがありますか。



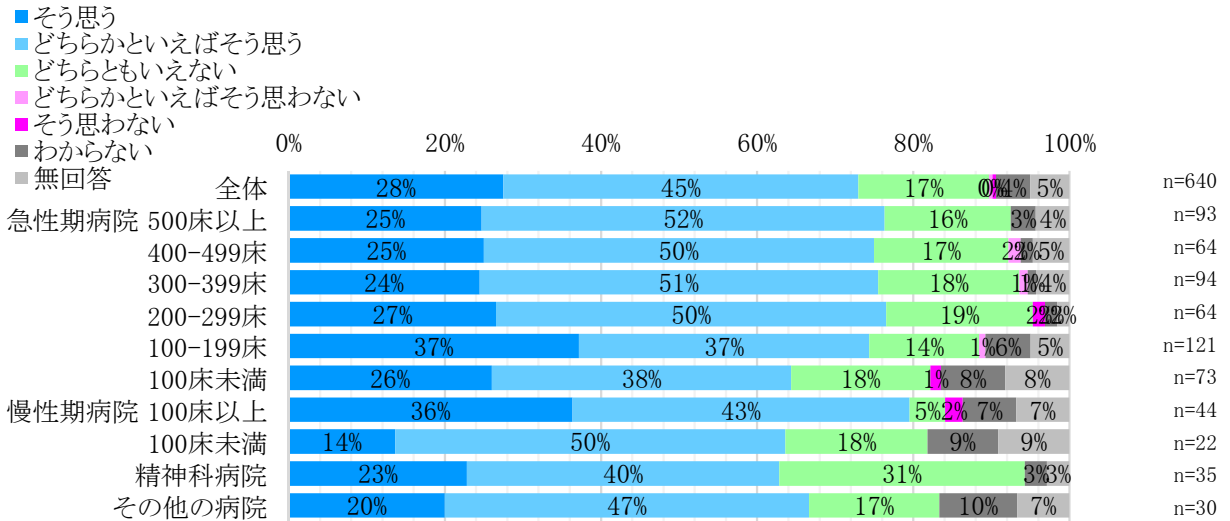
資料7

81. 各種の医療安全情報を活用することにより、貴院における新たな医療事故の発生を予防できていると思いますか。

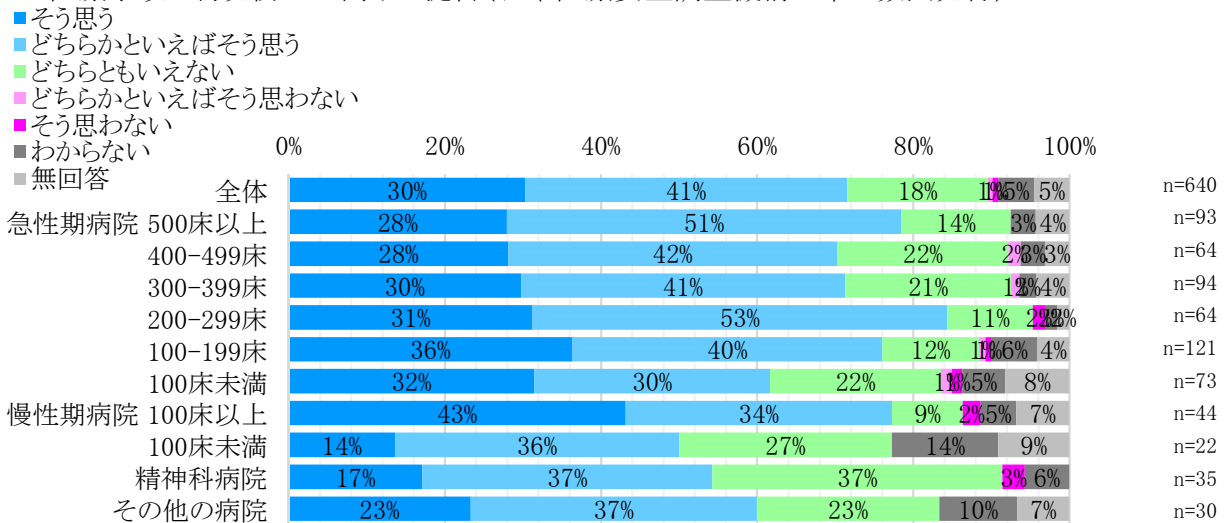
01 医療安全情報(日本医療機能評価機構が毎月発行)



02 PMDA医療安全情報(医薬品医療機器総合機構が年に数回発行)

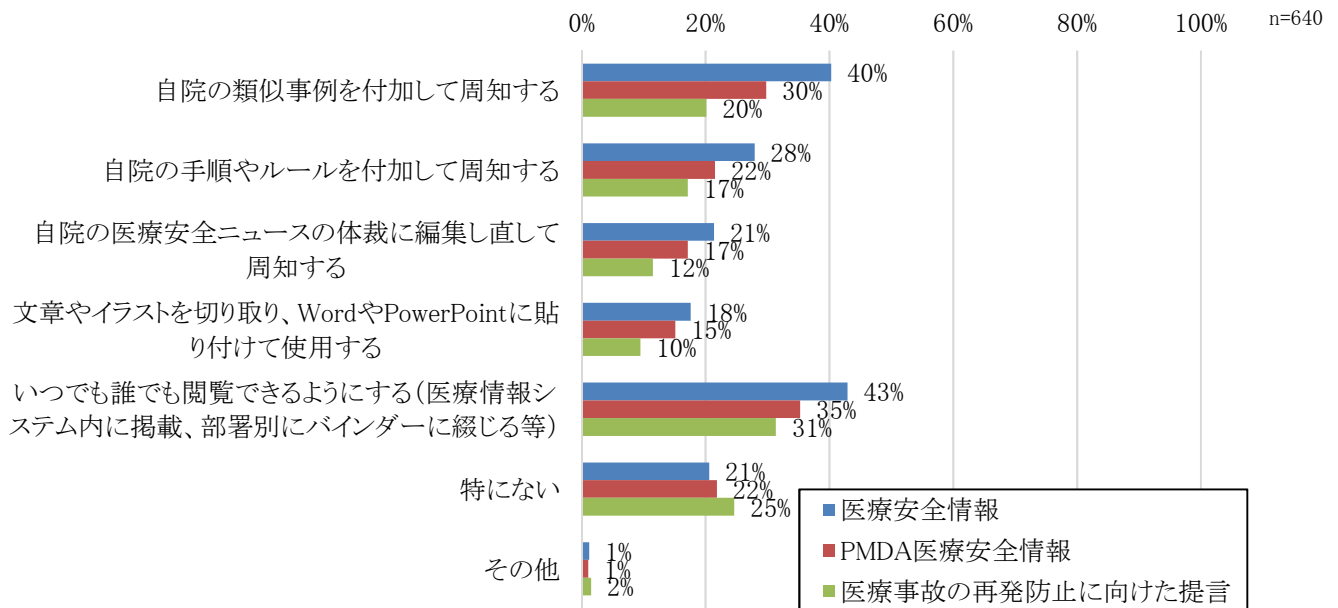


03 医療事故の再発防止に向けた提言(日本医療安全調査機構が年に数回発行)

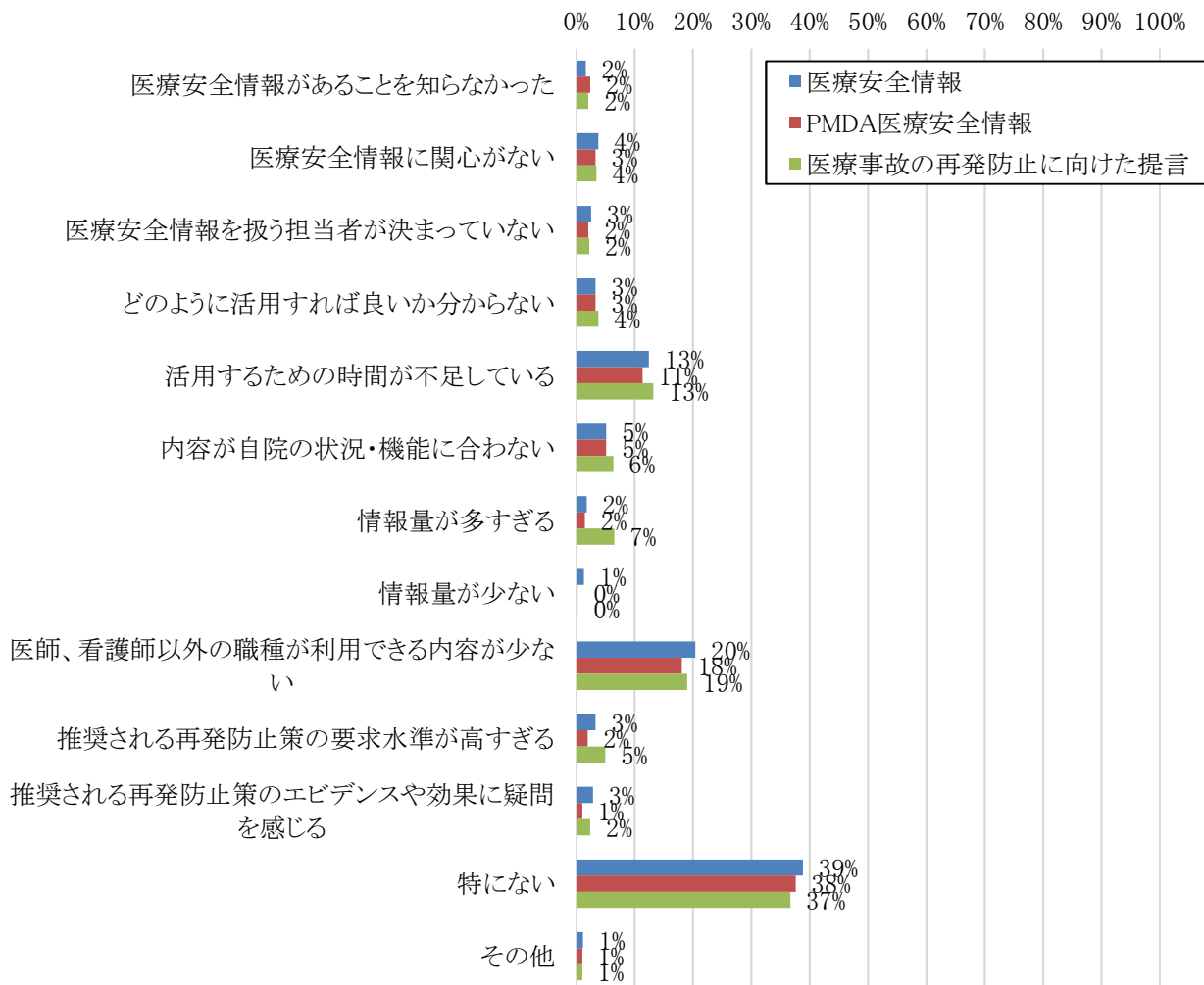


資料7

82. 貴院において、各種医療安全情報の周知・活用を促進するため、何か工夫していることがありますか。
(当てはまるもの全て選択)

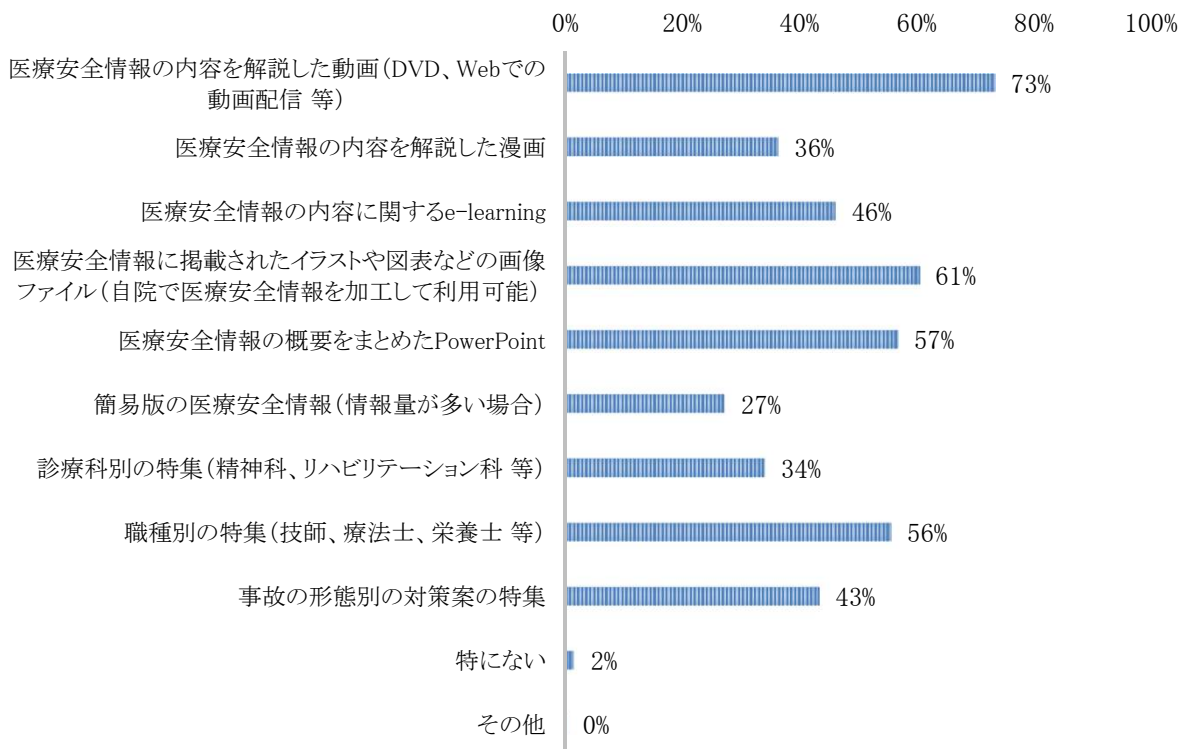


83. 各種の医療安全情報の貴院における活用を阻害する要因があれば選んでください。(当てはまるもの全て選択)

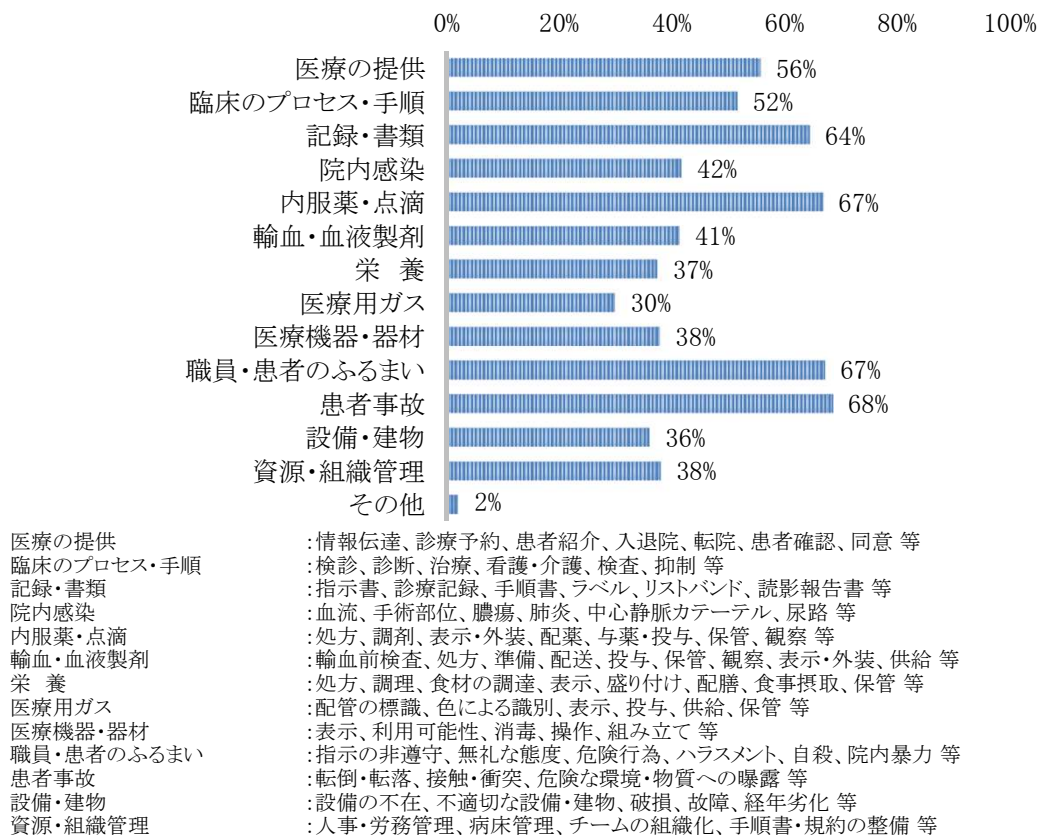


資料7

84. 医療安全情報の院内での利用促進ツールとして、あれば利用したいと思うものを選んでください。(当てはまるもの全て選択)



85. 医療安全情報の内容・テーマとして希望するものがあれば選択してください。(当てはまるもの全て選択)



86. 各種の医療安全情報への要望があればお書きください(病院への伝達手段、記載内容、情報量、体裁等)。

(自由記載、省略)

87. 医療安全を向上するため方法等について、何かご意見がありましたらお書きください。

(自由記載、省略)

以上

調査へのご協力ありがとうございました。